

公共交通に関する 住民アンケート調査結果

柏原市

1. 調査概要

(1) 調査目的

- 市民の日常の移動実態や交通需要、公共交通の利用状況を把握し、市内循環バス「きらめき号」をはじめとした市内公共交通の見直しに活用することを目的にアンケート調査を実施した。

(2) 実施概要

【調査対象】

柏原市に6ヶ月以上在住する15歳以上の市民

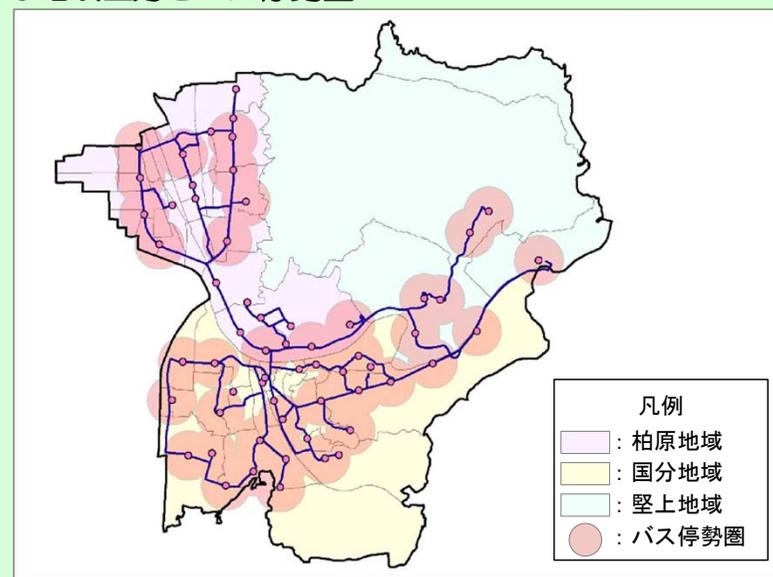
【調査実施時期】

令和6年3月4日(月)～3月22日(金)

【調査方法】

- ・ 住民基本台帳からの無作為抽出による郵送配布・郵送回収
- ・ 配布対象を地域別（柏原・国分・堅上地域）、市内循環バスのバス停勢圏（300m）内外、町丁目別、年代別に分類し、これらの分類の人口構成に応じて計3,000部を分配

●地域区分とバス停勢圏



(3) 調査項目

- 普段の外出状況について
- 柏原市内の公共交通（市内循環バス「きらめき号」等）の利用状況について
- 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について
- 将来における外出について
- 運転免許証の自主返納について（65歳以上を対象）
- 個人属性

2. 回答状況

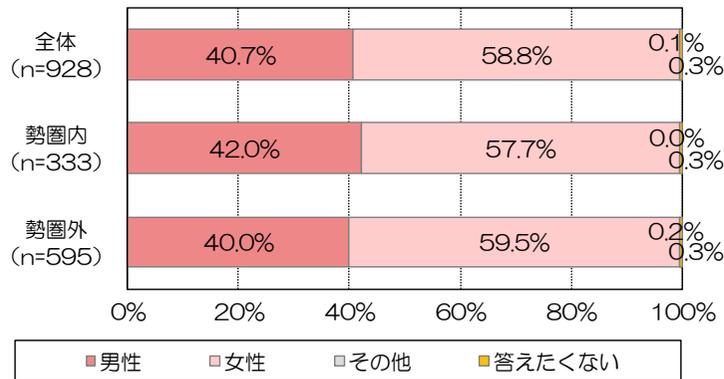
- 回収部数は1,233票、回答率は41.2%（勢圏内：回収部数479部・回答率40.0%、勢圏外：回収部数754部・回答率42.0%）である。
- 回答者の平均年齢は64.4歳（勢圏内：65.0歳、勢圏外：64.1歳）であり、高齢者及び10年以内に高齢者となる世代の割合が高いアンケートデータである。

●配布部数・回収部数・回収率

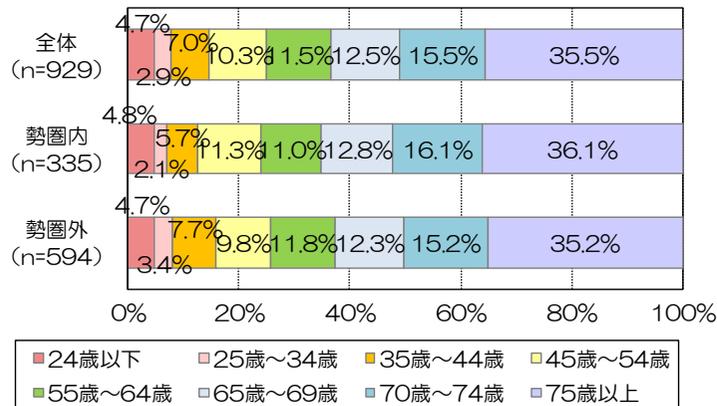
	柏原地域			国分地域			堅上地域			全地域(地域不明含む)		
	配布部数	回収部数	回収率	配布部数	回収部数	回収率	配布部数	回収部数	回収率	配布部数	回収部数	回収率
勢圏内	598	161	26.9%	599	164	27.4%	配布無し			1,197	479	40.0%
勢圏外	598	171	28.6%	599	166	27.7%	597	237	39.7%	1,794	754	42.0%
全体	1,196	332	27.8%	1,198	330	27.5%	597	237	39.7%	2,991	1,233	41.2%

※配布部数は、宛先不明により郵送できなかったサンプル(計9部)を除いているため、調査概要に示す配布部数と一致しない。

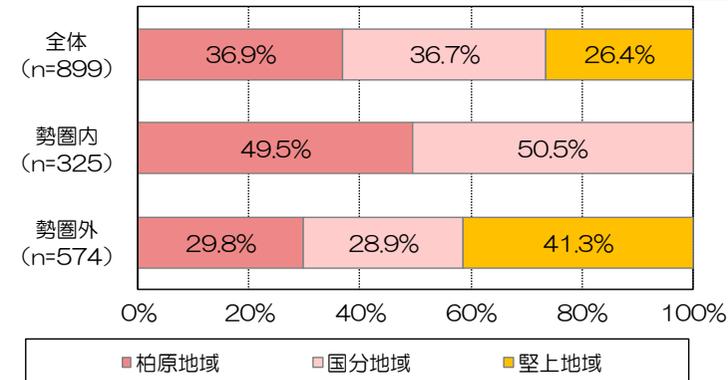
●回答者の性別



●回答者の年齢



●回答者の住まいの地域



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 回答者属性

(1) 回答者属性 (1/3)

- 自動車の保有状況を年齢別にみると、「自動車（自分で運転する）」の割合は、24歳以下及び75歳以上が他の世代と比べて低くなっている。「持っていない」の割合は、高齢になるにつれて増加している。
- 住まいの地域別でみると、「自動車（自分で運転する）」の割合は、堅上地域が最も高く、次いで勢圏外の国分地域、勢圏外の柏原地域の順である。「自転車」は堅上地域の割合が他の地域と比べて低い。「持っていない」は、堅上地域の割合が他の地域と比べて高い。
- 同居人の状況を年齢別にみると、「未就学児と同居」や「小学生と同居」の割合は、25歳～34歳及び35歳～44歳（子育て世代を含む世代）で高く、「移動が困難な家族と同居」は、45歳～54歳から65歳～69歳及び75歳以上で高くなっている。「一人暮らし」は、70歳以上の方で他世代に比べて高い。

●自動車等の保有状況（年齢別）

	自動車 (自分で運 転する)	自動車 (家族が 運転する)	自動二 輪・原付	自転車	その他	持って いない	総回答数
全体(N=869、n=592)	52.5%	26.4%	15.0%	31.8%	1.4%	19.8%	146.8%
24歳以下(N=45、n=27)	33.3%	55.6%	22.2%	44.4%	3.7%	7.4%	166.7%
25歳～34歳(N=41、n=20)	60.0%	60.0%	20.0%	60.0%	0.0%	5.0%	205.0%
35歳～44歳(N=96、n=46)	69.6%	43.5%	23.9%	60.9%	2.2%	8.7%	208.7%
45歳～54歳(N=101、n=58)	72.4%	29.3%	29.3%	37.9%	0.0%	5.2%	174.1%
55歳～64歳(N=112、n=70)	71.4%	18.6%	20.0%	41.4%	1.4%	7.1%	160.0%
65歳～69歳(N=113、n=72)	58.3%	31.9%	18.1%	31.9%	1.4%	15.3%	156.9%
70歳～74歳(N=122、n=89)	59.6%	22.5%	13.5%	25.8%	0.0%	15.7%	137.1%
75歳以上(N=233、n=205)	32.7%	16.6%	5.9%	19.0%	2.0%	37.6%	113.7%

※複数回答（自動車等の保有状況）

●自動車等の保有状況（住まいの地域別）

	自動車 (自分で運 転する)	自動車 (家族が 運転する)	自動二 輪・原付	自転車	その他	持って いない	総回答数
全体(N=1341、n=926)	48.3%	24.8%	13.5%	37.7%	1.2%	19.3%	144.8%
勢圏内(N=472、n=334)	40.7%	22.2%	10.8%	47.6%	0.9%	18.6%	141.3%
国分地域(N=222、n=162)	42.6%	25.3%	8.0%	39.5%	1.9%	19.8%	137.0%
柏原地域(N=236、n=159)	39.6%	20.1%	13.8%	58.5%	0.0%	16.4%	148.4%
勢圏外(N=869、n=592)	52.5%	26.4%	15.0%	31.8%	1.4%	19.8%	146.8%
堅上地域(N=308、n=232)	56.0%	21.1%	21.1%	7.3%	0.9%	26.3%	132.8%
国分地域(N=254、n=165)	52.7%	24.8%	14.5%	40.6%	1.2%	20.0%	153.9%
柏原地域(N=275、n=171)	48.5%	33.3%	8.8%	56.7%	2.3%	11.1%	160.8%

※複数回答（自動車等の保有状況）

●同居人の状況（年齢別）

	未就学児 と同居	小学生と 同居	移動が困 難な家族 と同居	一人暮ら し	いずれに も該当しな い	総回答数
全体(N=1151、n=1127)	5.4%	6.5%	11.1%	14.0%	65.1%	102.1%
24歳以下(N=44、n=40)	2.5%	5.0%	2.5%	5.0%	95.0%	110.0%
25歳～34歳(N=27、n=26)	30.8%	0.0%	3.8%	7.7%	61.5%	103.8%
35歳～44歳(N=74、n=64)	29.7%	39.1%	4.7%	7.8%	34.4%	115.6%
45歳～54歳(N=96、n=92)	2.2%	18.5%	18.5%	8.7%	56.5%	104.3%
55歳～64歳(N=104、n=101)	3.0%	0.0%	16.8%	11.9%	71.3%	103.0%
65歳～69歳(N=110、n=104)	1.0%	1.0%	11.5%	13.5%	78.8%	105.8%
70歳～74歳(N=135、n=133)	0.0%	0.0%	9.0%	16.5%	75.9%	101.5%
75歳以上(N=304、n=286)	0.3%	0.0%	13.3%	30.1%	62.6%	106.3%

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 回答者属性

(1) 回答者属性 (2/3)

- 歩行可能な距離を年齢別にみると、「300m（約5分）程度なら歩ける」及び「歩行困難」の割合は、75歳以上が他の世代と比べて高くなっている。
- 住まいの地域別でみると、「300m（約5分）程度なら歩ける」及び「歩行困難」の割合は、堅上地域が最も高い。
- 自宅最寄りのバス停認知度を年齢別にみると、「知っている」の割合は、高齢になるにつれて高くなっている。「バス停の場所がわからない」は、55歳～64歳以下の世代で2割から約4割を占める。
- 自宅最寄りのバス停までの徒歩による所要時間を住まいの地域別でみると、「16分～20分」及び「21分以上」の割合が、堅上地域では他の地域と比べて高くなっている。

●歩行可能な距離（年齢別）

	1km (約16分) 程度でも 問題なく 歩ける	800m (約13分) 程度なら 歩ける	500m (約8分) 程度なら 歩ける	300m (約5分) 程度なら 歩ける	歩行困難	回答者数
全体 (n=736)	76.1%	7.7%	8.2%	4.3%	3.7%	100.0%
24歳以下 (n=28)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
25歳～34歳 (n=20)	85.0%	5.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%
35歳～44歳 (n=45)	86.7%	8.9%	2.2%	2.2%	0.0%	100.0%
45歳～54歳 (n=58)	93.1%	0.0%	3.4%	3.4%	0.0%	100.0%
55歳～64歳 (n=70)	90.0%	2.9%	1.4%	2.9%	2.9%	100.0%
65歳～69歳 (n=72)	80.6%	11.1%	5.6%	1.4%	1.4%	100.0%
70歳～74歳 (n=89)	71.9%	9.0%	15.7%	1.1%	2.2%	100.0%
75歳以上 (n=199)	55.3%	10.6%	12.1%	11.6%	10.6%	100.0%

●歩行可能な距離（住まいの地域別）

	1km (約16分) 程度でも 問題なく 歩ける	800m (約13分) 程度なら 歩ける	500m (約8分) 程度なら 歩ける	300m (約5分) 程度なら 歩ける	歩行困難	回答者数
全体 (n=1202)	77.7%	7.8%	6.8%	4.2%	3.5%	100.0%
勢圏内 (n=466)	80.3%	7.9%	4.7%	3.9%	3.2%	100.0%
国分地域 (n=162)	76.5%	8.0%	6.8%	3.1%	5.6%	100.0%
柏原地域 (n=157)	82.8%	5.7%	3.2%	5.7%	2.5%	100.0%
勢圏外 (n=736)	76.1%	7.7%	8.2%	4.3%	3.7%	100.0%
堅上地域 (n=231)	67.5%	6.5%	10.4%	8.2%	7.4%	100.0%
国分地域 (n=165)	80.6%	7.9%	6.7%	3.6%	1.2%	100.0%
柏原地域 (n=167)	79.0%	7.8%	7.8%	3.0%	2.4%	100.0%

●自宅最寄りのバス停認知度（年齢別）

	知っている	場所は知っているが、バス停名は知らない	近くにバス停はない	バス停の場所がわからない	回答者数
全体 (n=1196)	54.8%	12.8%	11.3%	21.1%	100.0%
24歳以下 (n=44)	38.6%	18.2%	15.9%	27.3%	100.0%
25歳～34歳 (n=27)	33.3%	22.2%	18.5%	25.9%	100.0%
35歳～44歳 (n=64)	45.3%	12.5%	3.1%	39.1%	100.0%
45歳～54歳 (n=96)	46.9%	15.6%	14.6%	22.9%	100.0%
55歳～64歳 (n=105)	51.4%	13.3%	10.5%	24.8%	100.0%
65歳～69歳 (n=115)	63.5%	13.0%	9.6%	13.9%	100.0%
70歳～74歳 (n=141)	64.5%	9.9%	9.9%	15.6%	100.0%
75歳以上 (n=313)	72.8%	7.0%	8.9%	11.2%	100.0%

●自宅最寄りのバス停までの徒歩による所要時間（住まいの地域別）

	～5分以内	6～10分	11～15分	16～20分	21分以上	回答者数
全体 (n=760)	70.1%	23.2%	4.1%	1.4%	1.2%	100.0%
勢圏内 (n=276)	76.1%	22.1%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
国分地域 (n=120)	72.5%	26.7%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%
柏原地域 (n=86)	75.6%	22.1%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%
勢圏外 (n=484)	66.7%	23.8%	5.4%	2.3%	1.9%	100.0%
堅上地域 (n=184)	59.2%	25.0%	7.6%	4.9%	3.3%	100.0%
国分地域 (n=116)	79.3%	15.5%	2.6%	1.7%	0.9%	100.0%
柏原地域 (n=87)	63.2%	34.5%	2.3%	0.0%	0.0%	100.0%

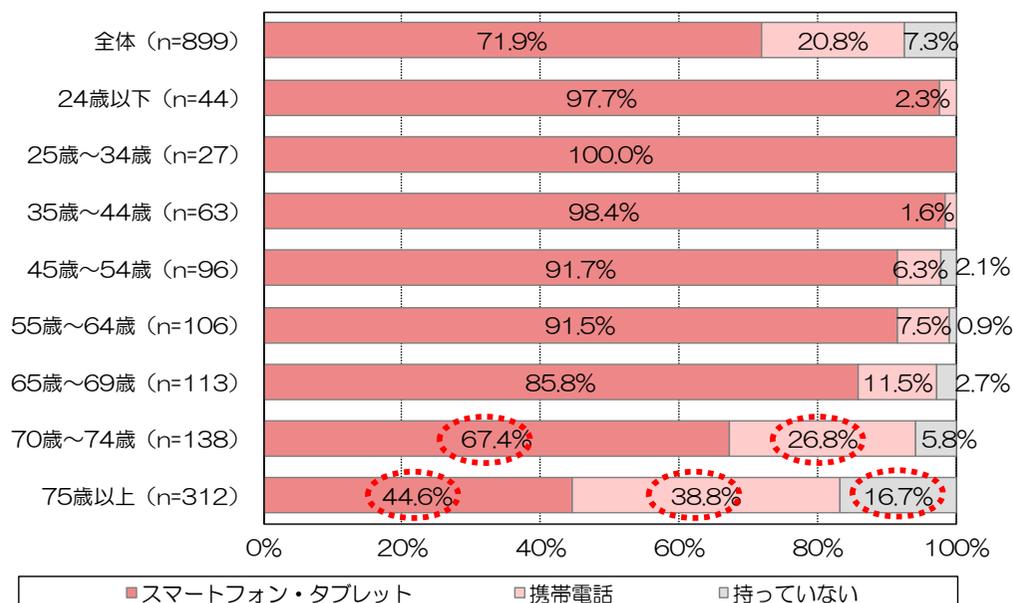
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

3. 回答者属性

(1) 回答者属性 (3/3)

- スマートフォン等の保有状況を年齢別にみると、「スマートフォン・タブレット」の割合は、高齢になるにつれて低くなり、「携帯電話」の割合が高くなっている。「持っていない」の割合は75歳以上で約17%と他の世代と比べて高い。
- スマートフォン・タブレットの利用する機能を年齢別にみると、「通話」及び「メール・SNS (LINE 等)」の割合はいずれの世代においても高いが、「インターネット」、「路線・乗換検索」及び「キャッシュレス決済 (PayPay、楽天ペイ等)」は高齢になるにつれて、低くなっている。

●スマートフォン等の保有状況 (年齢別)



●スマートフォン・タブレットの利用する機能 (年齢別)

	通話	メール・SNS (LINE 等)	インターネット	路線・乗換検索	キャッシュレス決済 (PayPay、楽天ペイ等)	その他	総回答数
全体 (N=3535、n=904)	88.9%	93.3%	78.2%	69.8%	53.5%	7.3%	391.0%
24歳以下 (N=190、n=43)	88.4%	97.7%	95.3%	86.0%	65.1%	9.3%	441.9%
25歳~34歳 (N=112、n=25)	84.0%	96.0%	88.0%	88.0%	76.0%	16.0%	448.0%
35歳~44歳 (N=276、n=62)	85.5%	98.4%	91.9%	83.9%	77.4%	8.1%	445.2%
45歳~54歳 (N=376、n=88)	86.4%	100.0%	93.2%	75.0%	69.3%	3.4%	427.3%
55歳~64歳 (N=390、n=97)	84.5%	95.9%	88.7%	72.2%	55.7%	5.2%	402.1%
65歳~69歳 (N=371、n=96)	96.9%	92.7%	76.0%	64.6%	50.0%	6.3%	386.5%
70歳~74歳 (N=302、n=93)	89.2%	83.9%	58.1%	55.9%	31.2%	6.5%	324.7%
75歳以上 (N=379、n=137)	92.0%	80.3%	38.7%	39.4%	19.7%	6.6%	276.6%

※複数回答 (スマートフォン・タブレットの利用する機能)

4. 普段の外出状況について

(1) 平日の外出状況 (1/5)

- 平日の主な外出先は、「柏原市内」の割合が約56%と最も高く、その内訳をみると「近鉄河内国分駅周辺」が約23%と最も高く、次いで「JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺」が約16%、「その他柏原市内」が約15%である。
- 2番目に割合が高い「近隣市町・大阪府内」の割合が約38%であり、その内訳をみると「大阪市」が約15%と最も高く、次いで「八尾市」が約11%である。

●主な外出先の内訳

主な外出先	回答者数	割合
柏原市内	673	56.2%
近鉄河内国分駅周辺	269	22.5%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	196	16.4%
その他柏原市内	180	15.0%
近鉄安堂駅周辺	13	1.1%
(未回答)	15	1.3%
近隣市町・大阪府内	456	38.1%
大阪市	176	14.7%
八尾市	127	10.6%
藤井寺市	34	2.8%
羽曳野市	33	2.8%
松原市	6	0.5%
その他大阪府内	69	5.8%
東大阪市	25	2.1%
堺市	7	0.6%
吹田市	6	0.5%
富田林市	4	0.3%
河内長野市	3	0.3%
茨木市	2	0.2%
河南町	2	0.2%
太子町	2	0.2%
大東市	2	0.2%
箕面市	1	0.1%
摂津市	1	0.1%
枚方市	1	0.1%
寝屋川市	1	0.1%
和泉市	1	0.1%
泉大津市	1	0.1%
貝塚市	1	0.1%
千早赤阪村	1	0.1%
大阪狭山市	1	0.1%
(未回答)	7	0.6%
(未回答)	11	0.9%

主な外出先	回答者数	割合
奈良県内	55	4.6%
香芝市	14	1.2%
王寺町	9	0.8%
奈良市	8	0.7%
上牧町	6	0.5%
三郷町	3	0.3%
大和高田市	1	0.1%
生駒市	1	0.1%
天理市	1	0.1%
御所市	1	0.1%
安堵町	1	0.1%
広陵町	1	0.1%
川西町	1	0.1%
平群町	1	0.1%
(未回答)	7	0.6%
その他府県	14	1.2%
兵庫県	7	0.6%
京都府	3	0.3%
滋賀県	1	0.1%
三重県	1	0.1%
東京都	1	0.1%
(未回答)	1	0.1%
合計	1,198	100.0%

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(1) 平日の外出状況 (2/5)

- 外出目的別の行き先をみると、買い物では河内国分駅周辺の「ライフ国分店」、「食品館アプロ国分店」が多いほか、柏原駅・堅下駅周辺の「万代柏原大県店」、「スーパー北庄」もみられる。
- 医療施設では、「市立柏原病院」が最も多く、次いで、柏原駅周辺の「医療法人聖心会大島医院」が多い。
- 市の施設では、「やすらぎの園」、「市役所」などがみられる。

●外出先の施設（上位最大20位）

・買い物施設の目的地

1	ライフ国分店	79
2	スーパーヤオヒコ(店舗不明)	37
3	万代(店舗不明)	34
4	食品館アプロ国分店	26
5	イズミヤ(店舗不明)	20
6	サンプラザ(店舗不明)	19
7	万代柏原大県店	16
8	スーパー北庄	13
9	サンディ柏原店	12
9	ライフ(店舗不明)	12
10	デイリーカナート(店舗不明)	5
10	業務スーパー(店舗不明)	5
11	スーパーヤオヒコ柏原店	4
11	フレッシュマーケットアオイ柏原法善寺駅前店	4
11	アクロスプラザ八尾	4
11	ライフ志紀店	4
11	ラ・ムー(店舗不明)	4
回答数 合計		394
回答者数		245

・医療施設の目的地

1	市立柏原病院	11
2	医療法人聖心会大島医院	7
3	白岩内科医院	4
3	西整形外科	4
3	医療法人徳洲会全南病院	4
4	大阪はびきの医療センター	3
5	医療法人真征会西出クリニック	2
5	医療法人吉原クリニック	2
5	さかいペインクリニック	2
5	セノオ眼科医院	2
5	大阪警察病院	2
5	八尾市立病院	2
5	大阪公立大学医学部附属病院	2
回答数 合計		91
回答者数		69

・市役所などの市の施設の目的地

1	老人福祉センター やすらぎの園	2
2	柏原市役所	1
2	柏原市国分合同会館	1
2	柏原駅東自転車駐車場	1
2	柏原市立国分小学校	1
2	八尾市立山本小学校	1
回答数 合計		7
回答者数		1

: 市内
 : 市外
 : 不明

4. 普段の外出状況について

(1) 平日の外出状況 (3/5)

- 外出目的を年齢別にみると、「通勤」の割合は25歳～34歳から55歳～64歳にかけて、「通学」は24歳以下、「買い物」及び「通院」は高齢になるにつれて高くなっている。
- 外出目的を主な外出先別にみると、近鉄河内国分駅周辺及びJR柏原駅・近鉄堅下駅周辺では「買い物」の割合が高く、その他柏原市内、大阪市及び八尾市では「通勤」が高い。
- 出発時間帯を外出目的別にみると、「通勤」及び「通学」は7～8時台、「買い物」及び「通院」は9～10時台がピークであり、帰宅時間帯は、「通勤」は18～19時台、「買い物」は11～12時台及び15時台から17時台、「通院」は11時台から14時台がピークである。

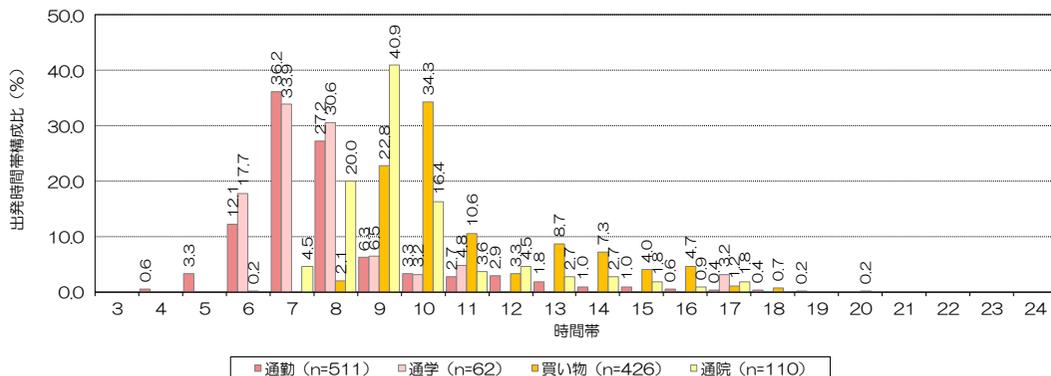
●主な外出先への外出目的 (年齢別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=1222)	41.9%	5.1%	36.2%	9.7%	2.5%	4.7%	100.0%
24歳以下 (n=43)	25.6%	65.1%	7.0%	0.0%	2.3%	0.0%	100.0%
25歳～34歳 (n=27)	74.1%	7.4%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
35歳～44歳 (n=65)	73.8%	1.5%	18.5%	4.6%	0.0%	1.5%	100.0%
45歳～54歳 (n=96)	83.3%	0.0%	15.6%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
55歳～64歳 (n=106)	66.0%	0.0%	27.4%	3.8%	1.9%	0.9%	100.0%
65歳～69歳 (n=112)	37.5%	0.9%	47.3%	4.5%	2.7%	7.1%	100.0%
70歳～74歳 (n=142)	19.0%	0.0%	59.2%	14.1%	4.2%	3.5%	100.0%
75歳以上 (n=328)	5.5%	0.0%	56.1%	24.7%	4.3%	9.5%	100.0%

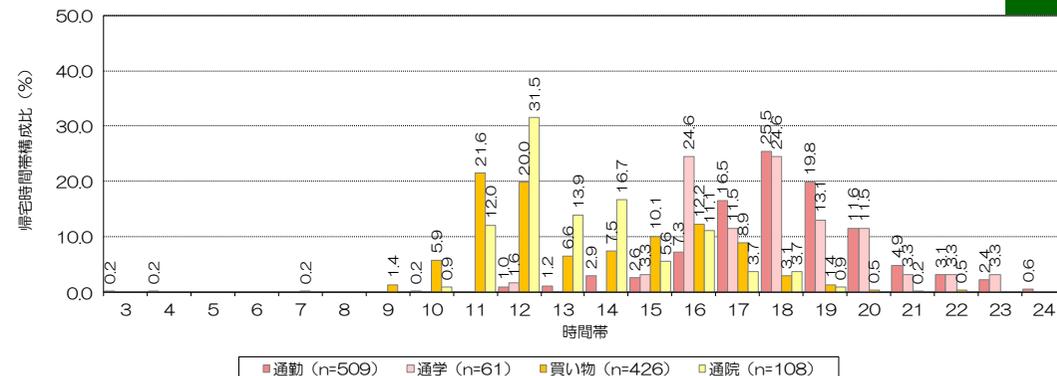
●主な外出先への外出目的 (主な外出先別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=1222)	41.9%	5.1%	36.2%	9.7%	2.5%	4.7%	100.0%
近鉄河内国分駅周辺 (n=268)	20.1%	2.2%	59.7%	10.8%	1.1%	6.0%	100.0%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺 (n=192)	19.3%	2.1%	54.2%	16.7%	3.1%	4.7%	100.0%
その他柏原市内 (n=179)	38.5%	1.7%	36.9%	11.7%	2.2%	8.9%	100.0%
近隣市町・大阪市内 (n=456)	66.2%	8.6%	15.1%	4.6%	3.1%	2.4%	100.0%
大阪市 (n=172)	72.7%	9.3%	9.3%	1.7%	4.7%	2.3%	100.0%
八尾市 (n=127)	59.1%	4.7%	24.4%	6.3%	3.9%	1.6%	100.0%
その他大阪府内 (n=72)	75.0%	19.4%	4.2%	0.0%	0.0%	1.4%	100.0%
奈良県内 (n=55)	45.5%	5.5%	38.2%	5.5%	3.6%	1.8%	100.0%

●主な外出先への出発時間帯 (外出目的別)



●主な外出先からの帰宅時間帯 (外出目的別)



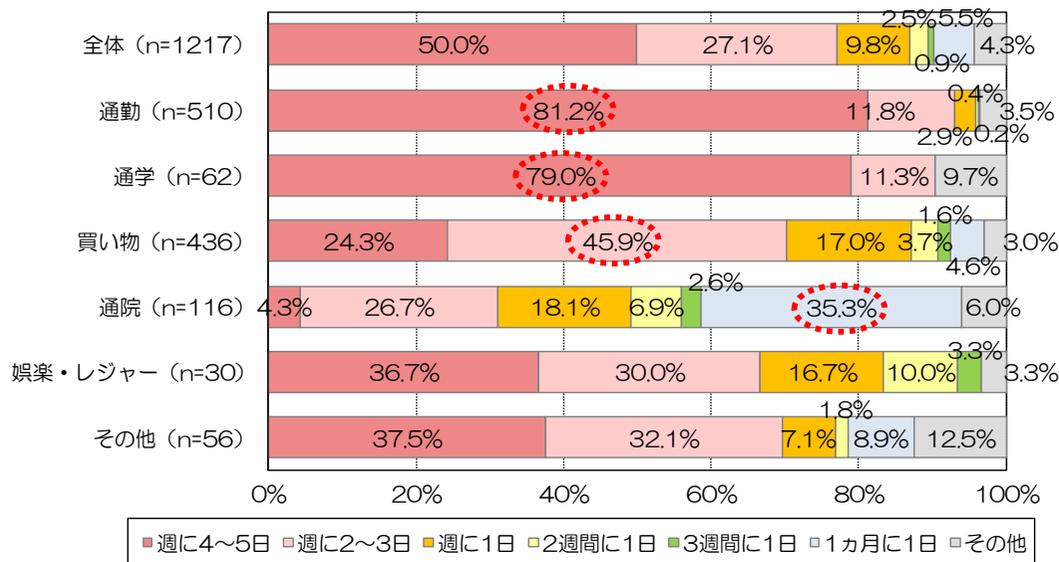
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

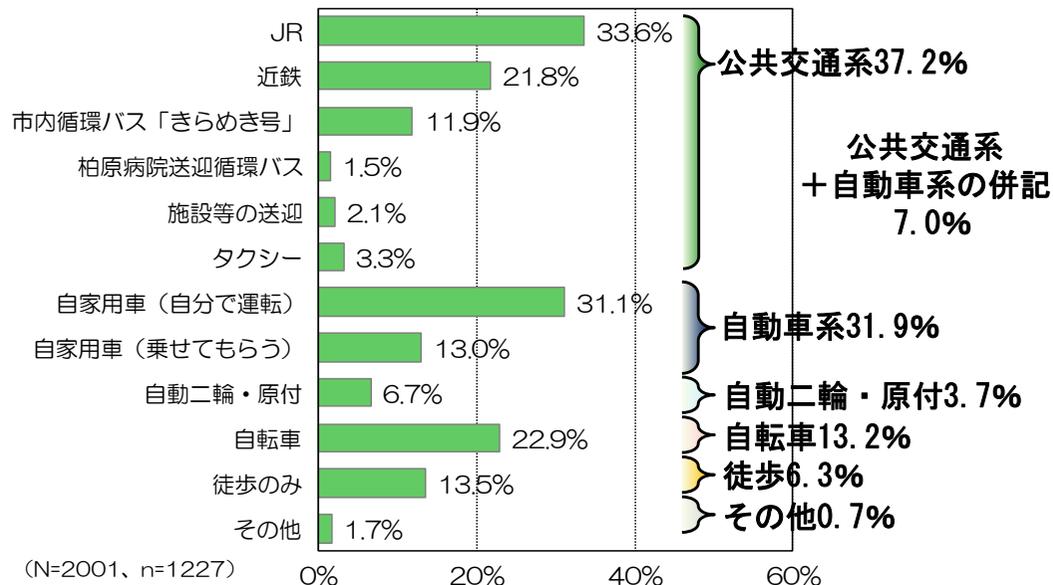
(1) 平日の外出状況 (4/5)

- 外出頻度を外出目的別にみると、「週に4~5日」の割合は「通勤」及び「通学」で約8割と最も高く、「週に2~3日」は「買い物」で約5割と最も高く、「1ヵ月に1日」は「通院」で約4割と最も高くなっている。
- 主な外出先への交通手段は、公共交通系の割合が約37%で最も高く、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約32%、公共交通系+自動車系の併記が約7%である。

●主な外出先への外出頻度 (外出目的別)



●主な外出先への交通手段



※複数回答 (主な外出先への交通手段)

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、自動二輪・原付、自転車、徒歩、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(1) 平日の外出状況 (5/5)

- 主な外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、柏原市内のうち、JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺及びその他柏原市内は自動車系が約31%～約40%、近鉄河内国分駅周辺は公共交通系が約33%を占める。
- 隣接市町のうち、八尾市は自動車系が約38%、大阪市は公共交通系が約76%を占める。

●主な外出先への交通手段 (主な外出先別)

	JR	近鉄	市内循環バス「きらめき号」	柏原病院送迎循環バス	施設等の送迎	タクシー	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (乗せてもらう)	自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	総回答数
全体(N=2001、n=1227)	33.6%	21.8%	11.9%	1.5%	2.1%	3.3%	31.1%	13.0%	6.7%	22.9%	13.5%	1.7%	163.1%
柏原市内(N=1041、n=671)	13.9%	13.0%	18.0%	2.4%	2.7%	4.2%	29.2%	14.0%	6.0%	29.4%	21.0%	1.5%	155.1%
近鉄河内国分駅周辺(N=440、n=269)	10.4%	18.6%	29.0%	1.5%	2.6%	5.9%	24.9%	13.8%	5.6%	26.4%	23.8%	1.1%	163.6%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺(N=303、n=195)	23.1%	9.2%	12.8%	3.6%	1.0%	1.5%	26.7%	14.9%	4.6%	33.3%	23.1%	1.5%	155.4%
その他柏原市内(N=263、n=179)	10.1%	8.4%	9.5%	2.8%	3.9%	5.0%	38.0%	15.1%	6.1%	30.7%	15.1%	2.2%	146.9%
近隣市町・大阪府内(N=656、n=456)	33.6%	30.5%	3.9%	0.7%	1.5%	1.8%	30.9%	11.0%	7.7%	16.0%	4.2%	2.2%	143.9%
八尾市(N=185、n=128)	19.5%	22.7%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	36.7%	16.4%	10.2%	25.8%	3.9%	0.0%	144.5%
大阪市(N=258、n=176)	56.8%	39.2%	3.4%	0.6%	1.1%	1.1%	15.9%	5.1%	3.4%	11.4%	4.5%	4.0%	146.6%

※複数回答 (主な外出先への交通手段)

●主な外出先への代表交通手段 (主な外出先別)

	公共交通系	公共交通系+自動車系の併記	自動車系	自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	合計
全体(n=1227)	37.2%	7.0%	31.9%	3.7%	13.2%	6.3%	0.7%	100.0%
柏原市内(n=671)	24.7%	10.1%	31.9%	3.6%	18.3%	10.6%	0.7%	100.0%
近鉄河内国分駅周辺(n=269)	33.1%	9.3%	28.3%	3.0%	13.8%	12.3%	0.4%	100.0%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺(n=195)	24.6%	10.3%	30.8%	1.5%	21.5%	10.8%	0.5%	100.0%
その他柏原市内(n=179)	13.4%	11.2%	39.7%	4.5%	21.8%	7.8%	1.7%	100.0%
近隣市町・大阪府内(n=456)	46.5%	12.1%	28.7%	4.2%	7.2%	0.4%	0.9%	100.0%
八尾市(n=128)	24.2%	13.3%	37.5%	5.5%	18.0%	1.6%	0.0%	100.0%
大阪市(n=176)	75.6%	12.5%	8.5%	1.7%	1.1%	0.0%	0.6%	100.0%

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、自動二輪・原付、自転車、徒歩、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(2) 休日の外出状況 (1/5)

- 休日の主な外出先は、「近隣市町・大阪府内」の割合が約46%と最も高く、その内訳をみると「大阪市」が約18%と最も高く、次いで「八尾市」が約17%である。
- 2番目に割合が高い「柏原市内」の割合が約41%であり、その内訳をみると「近鉄河内国分駅周辺」が約17%と最も高く、次いで「JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺」が約12%である。

●主な外出先の内訳

主な外出先	回答者数	割合
柏原市内	454	40.5%
近鉄河内国分駅周辺	193	17.2%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺	129	11.5%
その他柏原市内	107	9.5%
近鉄安堂駅周辺	8	0.7%
(未回答)	17	1.5%
近隣市町・大阪府内	521	46.4%
大阪市	199	17.7%
八尾市	191	17.0%
藤井寺市	32	2.9%
羽曳野市	27	2.4%
松原市	5	0.4%
その他大阪府内	55	4.9%
堺市	12	1.1%
東大阪市	7	0.6%
和泉市	4	0.4%
太子町	3	0.3%
吹田市	2	0.2%
富田林市	2	0.2%
河内長野市	2	0.2%
河南町	1	0.1%
千早赤阪村	1	0.1%
(未回答)	21	1.9%
(未回答)	12	1.1%

主な外出先	回答者数	割合
奈良県内	120	10.7%
王寺町	32	2.9%
香芝市	18	1.6%
上牧町	14	1.2%
三郷町	9	0.8%
橿原市	7	0.6%
斑鳩町	4	0.4%
平群町	4	0.4%
奈良市	3	0.3%
大和高田市	2	0.2%
生駒市	1	0.1%
大和郡山市	1	0.1%
天理市	1	0.1%
桜井市	1	0.1%
葛城市	1	0.1%
河合町	1	0.1%
広陵町	1	0.1%
田原本町	1	0.1%
(未回答)	19	1.7%
その他府県	27	2.4%
京都府	8	0.7%
和歌山県	5	0.4%
兵庫県	3	0.3%
三重県	2	0.2%
滋賀県	1	0.1%
長野県	1	0.1%
(未回答)	8	0.7%
合計	1,122	100.0%

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(2) 休日の外出状況 (2/5)

- 外出目的別の行き先をみると、買い物では河内国分駅周辺の「ライフ国分店」が最も多く、次いで八尾市内の大型商業施設である「アリオ八尾」が多い。
- 医療施設では、「市立柏原病院」や市外の「大阪はびきの医療センター」等があるが、平日と比べて回答数が少ない。
- 市の施設の目的地の回答は見受けられなかった。

●外出先の施設 (上位最大20位)

・買い物施設の目的地

1	ライフ国分店	58
2	アリオ八尾	45
3	スーパーヤオヒコ(店舗不明)	36
4	万代(店舗不明)	35
5	イズミヤ(店舗不明)	31
6	食品館アプロ国分店	16
7	サンプラザ(店舗不明)	15
8	近鉄百貨店(店舗不明)	10
8	サンディ(店舗不明)	10
9	天王寺ミオ	9
9	イオン(店舗不明)	9
9	ライフ(店舗不明)	9
10	あべのハルカス	8
10	アクロスプラザ八尾	8
10	西友(店舗不明)	8
11	万代柏原大泉店	7
12	イズミヤ八尾店	6
12	リノアス	6
12	ラ・ムー(店舗不明)	6
回答数 合計		500
回答者数		363

・医療施設の目的地

1	市立柏原病院	2
1	大阪はびきの医療センター	2
1	やわらぎクリニック	2
2	西整形外科	1
2	社会医療法人高清会香芝旭ヶ丘病院	1
2	大阪公立大学医学部附属病院	1
2	医真会総合クリニック	1
	その他	1
回答数 合計		11
回答者数		10

・市役所などの市の施設の目的地

(回答者) なし

: 市内
 : 市外
 : 不明

4. 普段の外出状況について

(2) 休日の外出状況 (3/5)

- 外出目的を年齢別にみると、「買い物」の割合は25歳～34歳から75歳以上にかけて、「娯楽・レジャー」は24歳以下から25歳～34歳にかけて高くなっている。
- 外出目的を主な外出先別にみると、柏原市内のいずれの外出先及び八尾市では「買い物」の割合が高く、大阪市では「娯楽・レジャー」が高い。
- 出発時間帯を外出目的別にみると、「通勤」は7～8時台、「買い物」、「娯楽・レジャー」は10時台がピークであり、帰宅時間帯は、「通勤」は17～19時台、「買い物」は12時台及び15～16時台、「娯楽・レジャー」は16～17時台がピークである。

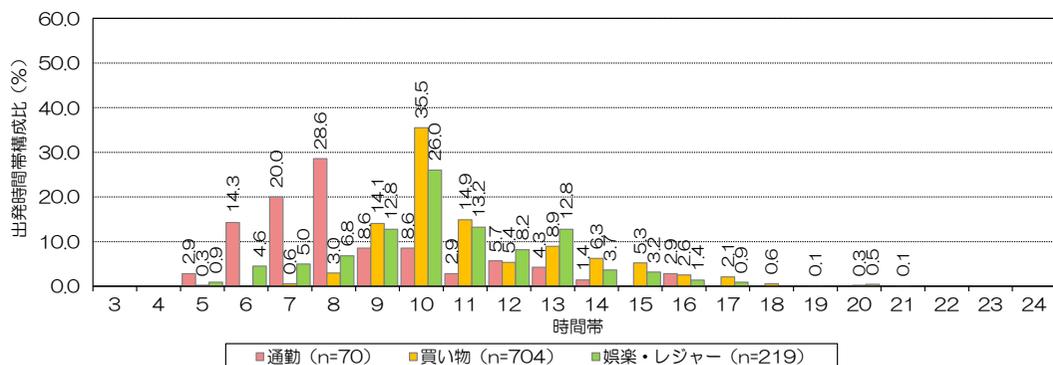
●主な外出先への外出目的 (年齢別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=1188)	6.2%	1.0%	62.8%	1.7%	19.1%	9.2%	100.0%
24歳以下 (n=43)	11.6%	16.3%	20.9%	0.0%	41.9%	9.3%	100.0%
25歳～34歳 (n=27)	0.0%	0.0%	51.9%	0.0%	44.4%	3.7%	100.0%
35歳～44歳 (n=64)	3.1%	0.0%	64.1%	1.6%	23.4%	7.8%	100.0%
45歳～54歳 (n=95)	11.6%	0.0%	69.5%	0.0%	16.8%	2.1%	100.0%
55歳～64歳 (n=106)	5.7%	0.0%	67.0%	0.0%	20.8%	6.6%	100.0%
65歳～69歳 (n=114)	8.8%	0.0%	64.9%	0.0%	17.5%	8.8%	100.0%
70歳～74歳 (n=138)	5.1%	0.0%	66.7%	2.2%	18.8%	7.2%	100.0%
75歳以上 (n=301)	2.0%	0.3%	63.8%	4.7%	12.3%	16.9%	100.0%

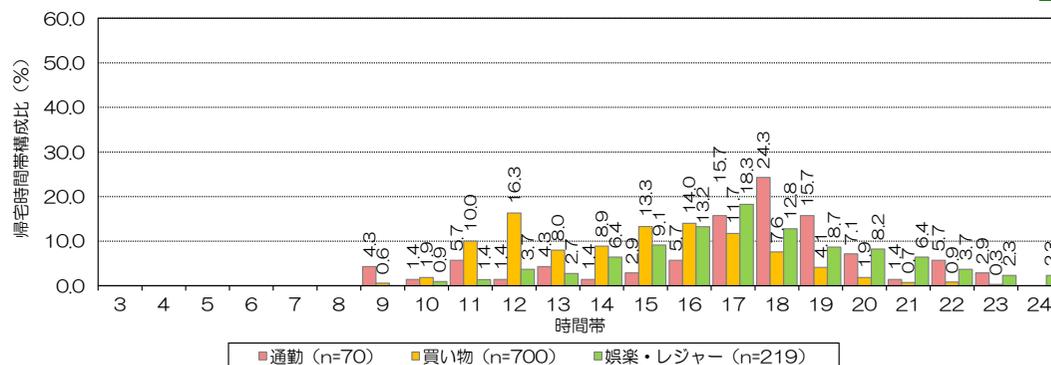
●主な外出先への外出目的 (主な外出先別)

	通勤	通学	買い物	通院	娯楽・レジャー	その他	回答者数
全体 (n=1188)	6.2%	1.0%	62.8%	1.7%	19.1%	9.2%	100.0%
柏原市内 (n=449)	6.5%	0.0%	75.7%	1.6%	7.3%	8.9%	100.0%
近鉄河内国分駅周辺 (n=189)	5.8%	0.0%	76.7%	3.2%	5.8%	8.5%	100.0%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺 (n=128)	5.5%	0.0%	80.5%	0.8%	10.2%	3.1%	100.0%
その他柏原市内 (n=107)	8.4%	0.0%	70.1%	0.0%	5.6%	15.9%	100.0%
近隣市町・大阪市内 (n=518)	7.9%	1.9%	56.0%	1.0%	27.2%	6.0%	100.0%
八尾市 (n=197)	6.1%	0.0%	74.6%	0.0%	14.7%	4.6%	100.0%
大阪市 (n=183)	9.3%	4.4%	35.5%	0.5%	44.3%	6.0%	100.0%

●主な外出先への出発時間帯 (外出目的別)



●主な外出先からの帰宅時間帯 (外出目的別)



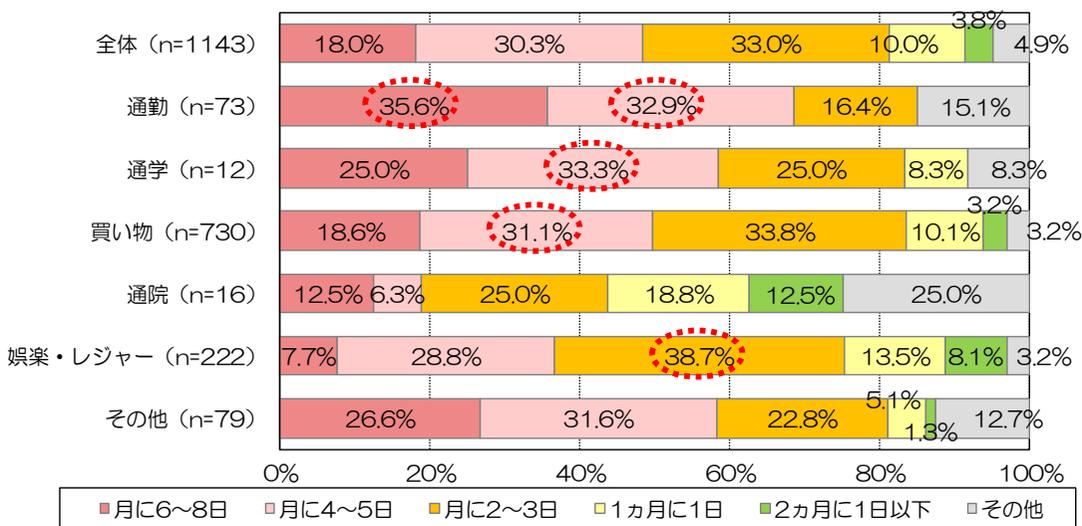
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

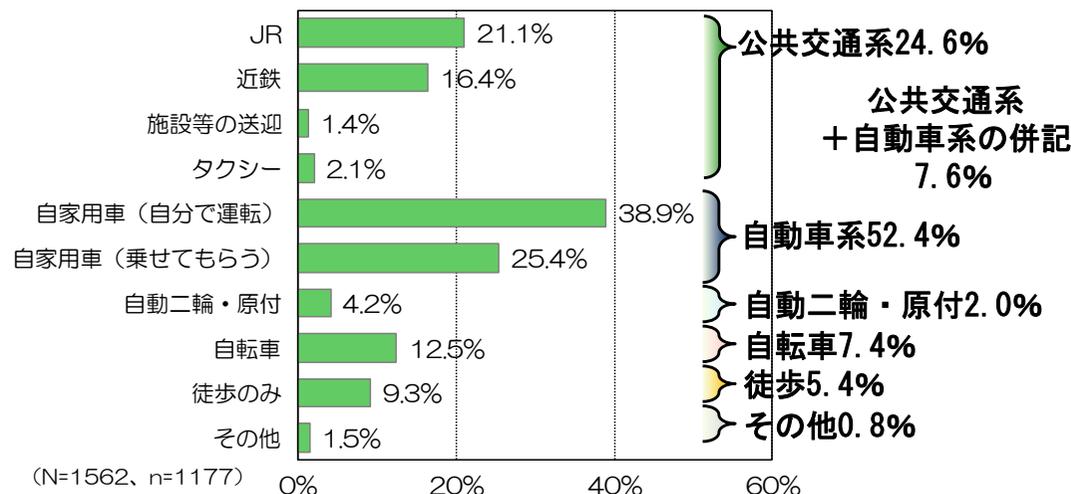
(2) 休日の外出状況 (4/5)

- 外出頻度を外出目的別にみると、「月に6~8日」の割合は通勤で約4割と最も高く、「月に4~5日」は通勤、通学及び買い物で約3割と高く、「月に2~3日」は娯楽・レジャーで約4割と最も高くなっている。
- 主な外出先への交通手段は、自動車系（自分で運転+乗せてもらう）が約52%、公共交通系+自動車系の併記が約8%を占め、自動車系の分担率が平日よりも高くなっている。

●主な外出先への外出頻度（外出目的別）



●主な外出先への交通手段



※複数回答（主な外出先への交通手段）

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、自動二輪・原付、自転車、徒歩、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(2) 休日の外出状況 (4/4)

- 主な外出先への交通手段を主な外出先別に見ると、柏原市内のいずれの外出先において、自動車系が約43%～約63%を占め、自動車系の分担率が平日よりも高くなっている。
- 隣接市町のうち、八尾市は自動車系が約71%を占め、自動車系の分担率が平日よりも高くなっている。大阪市は公共交通系が約73%を占める。

●主な外出先への交通手段 (主な外出先別)

	JR	近鉄	施設等の送迎	タクシー	自家用車 (自分で運転)	自家用車 (乗せてもらう)	自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	総回答数
全体(N=1562、n=1177)	21.1%	16.4%	1.4%	2.1%	38.9%	25.4%	4.2%	12.5%	9.3%	1.5%	132.7%
柏原市内(N=597、n=449)	14.0%	8.9%	2.4%	3.3%	35.6%	20.7%	4.5%	21.6%	19.6%	2.2%	133.0%
近鉄河内国分駅周辺(N=249、n=190)	11.6%	10.5%	3.7%	5.3%	28.4%	22.6%	3.7%	19.5%	23.2%	2.6%	131.1%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺(N=184、n=128)	21.1%	8.6%	0.8%	2.3%	30.5%	23.4%	4.7%	29.7%	21.9%	0.8%	143.8%
その他柏原市内(N=135、n=107)	10.3%	6.5%	2.8%	1.9%	54.2%	16.8%	4.7%	15.0%	12.1%	1.9%	126.2%
近隣市町・大阪府内(N=691、n=519)	30.1%	24.7%	0.4%	1.0%	35.8%	27.6%	3.7%	6.9%	2.5%	0.6%	133.1%
八尾市(N=243、n=199)	5.0%	16.6%	0.0%	0.5%	45.2%	37.7%	3.5%	9.5%	4.0%	0.0%	122.1%
大阪市(N=283、n=191)	65.4%	40.8%	0.0%	1.6%	13.6%	14.7%	3.1%	5.2%	2.6%	1.0%	148.2%

※複数回答 (主な外出先への交通手段)

●主な外出先への代表交通手段 (主な外出先別)

	公共交通系	公共交通系+自動車系の併記	自動車系	自動二輪・原付	自転車	徒歩のみ	その他	合計
全体(n=1177)	24.6%	7.6%	52.4%	2.0%	7.4%	5.4%	0.8%	100.0%
柏原市内(n=449)	16.0%	4.9%	47.9%	2.9%	14.7%	12.7%	0.9%	100.0%
近鉄河内国分駅周辺(n=190)	17.4%	4.7%	43.2%	3.7%	13.7%	15.3%	2.1%	100.0%
JR柏原駅・近鉄堅下駅周辺(n=128)	17.2%	7.0%	43.0%	0.8%	18.8%	13.3%	0.0%	100.0%
その他柏原市内(n=107)	12.1%	3.7%	62.6%	2.8%	10.3%	8.4%	0.0%	100.0%
近隣市町・大阪府内(n=519)	35.6%	10.0%	48.7%	1.3%	3.3%	0.8%	0.2%	100.0%
八尾市(n=199)	14.1%	5.0%	71.4%	1.5%	6.0%	2.0%	0.0%	100.0%
大阪市(n=191)	72.8%	16.8%	8.9%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 公共交通系、自動車系、公共交通系+自動車系の併記、自動二輪・原付、自転車、徒歩、その他の構成比は、代表交通手段に基づいて集計したものを示す。
代表交通手段とは、複数の交通手段を利用した場合、利用手段の中から主な手段を示すものであり、鉄道、バス、乗用車、自動二輪・原付、自転車、徒歩の順としている。

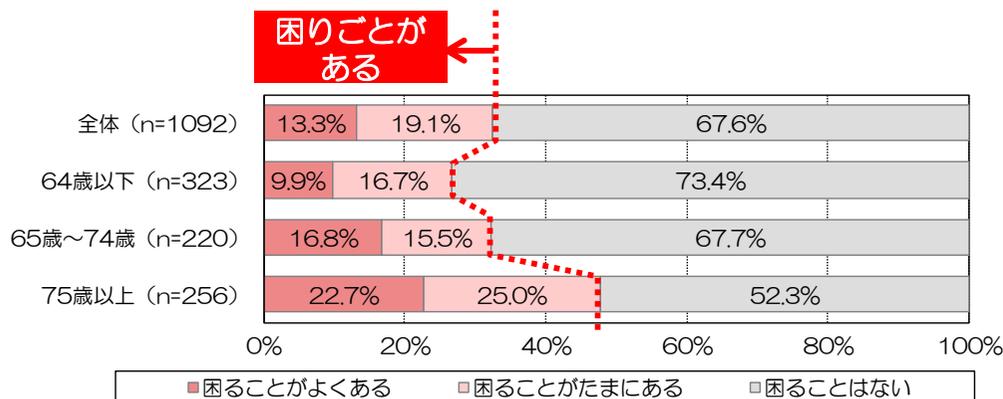
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

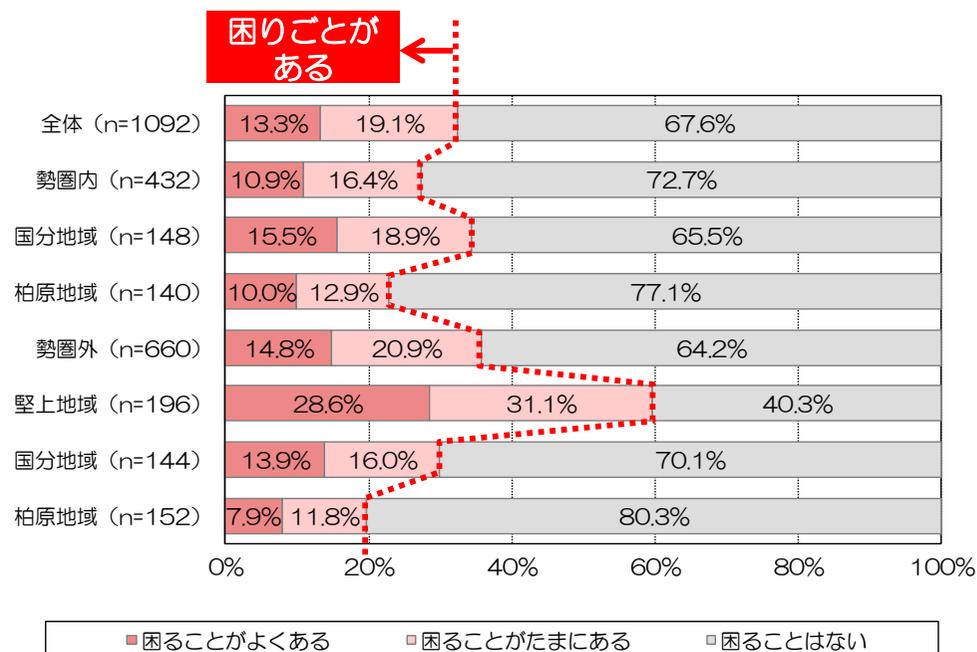
(3) 外出時の困りごとについて (1/5)

- 外出時の困りごとは、「困ることがある（困ることがよくある＋困ることがたまにある）」が約32%である。
- 年齢別で見ると、年齢が高齢になるにつれて、「困ることがある（困ることがよくある＋困ることがたまにある）」の割合が高くなっている。
- バス利用の有無で見ると、バスを利用する方の「困ることがある（困ることがよくある＋困ることがたまにある）」の割合が高くなっている。
- 住まいの地域別で見ると、「困ることがある（困ることがよくある＋困ることがたまにある）」の割合は堅上地域が他の地域と比べて高くなっている。

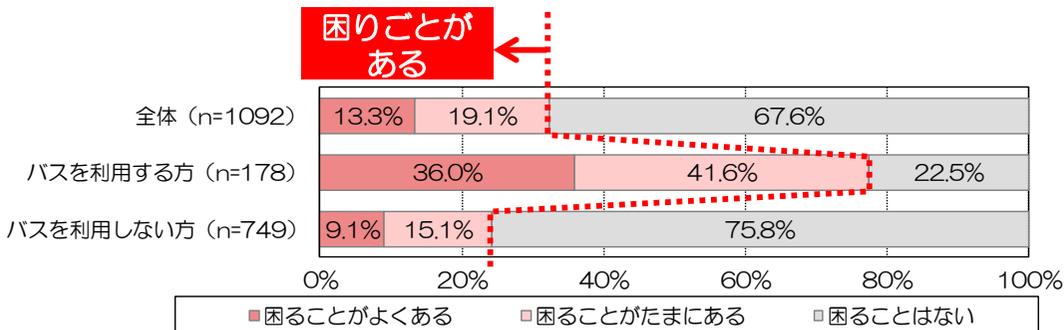
●外出時の困りごとの有無（年齢別）



●外出時の困りごとの有無（住まいの地域別）



●外出時の困りごとの有無（バス利用の有無別）



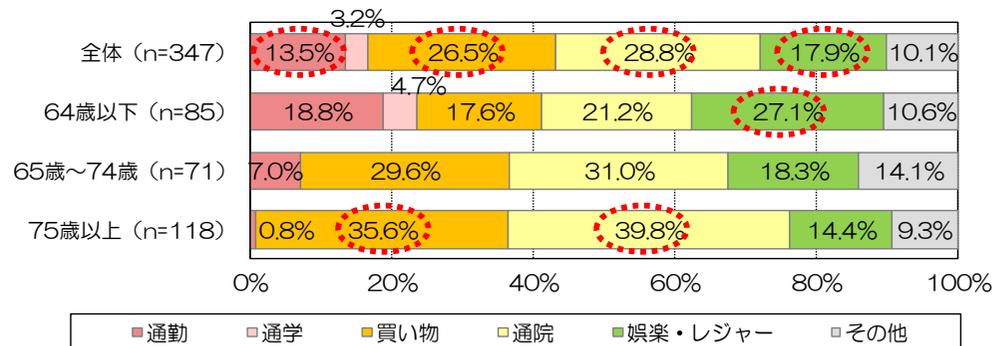
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

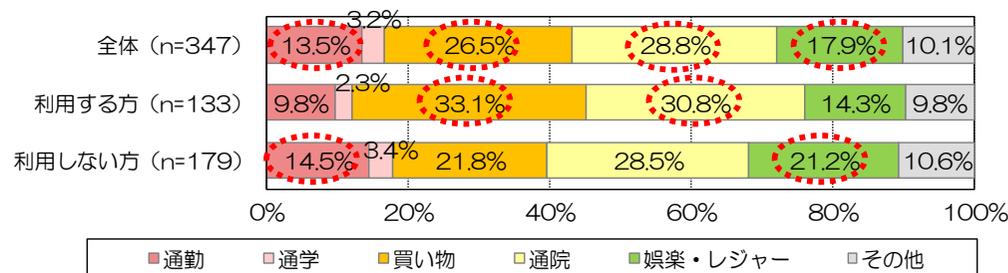
(3) 外出時の困りごとについて (2/5)

- 外出時に困ることがあるときの外出目的は、「通院」の割合が約29%と最も高く、次いで「買い物」が約27%、「娯楽・レジャー」が約18%、「通勤」が約14%である。
- 年齢別で見ると、高齢になるにつれて、「買い物」や「通院」の割合が高くなり、「娯楽・レジャー」の割合が低くなっている。
- バス利用の有無別で見ると、「買い物」や「通院」の割合はバスを利用する方が高く、「通勤」や「娯楽・レジャー」はバスを利用しない方が高くなっている。

●外出時に困ることがあるときの外出目的 (年齢別)



●外出時に困ることがあるときの外出目的 (バス利用の有無別)



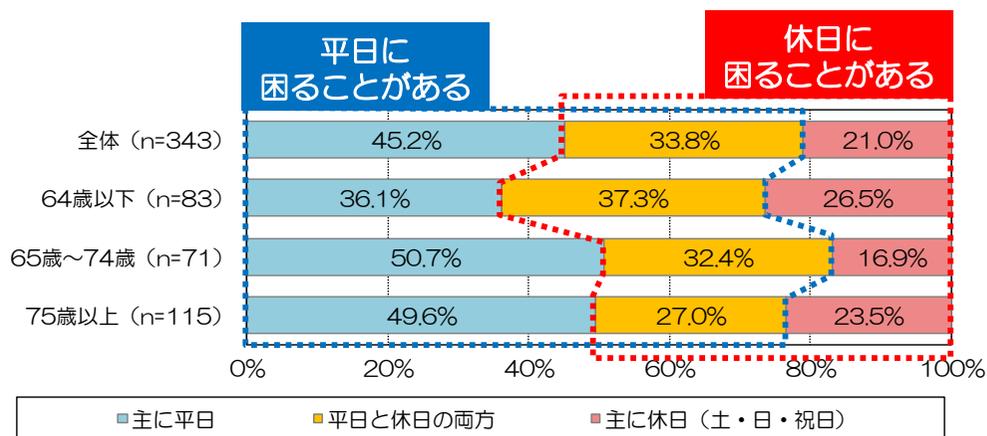
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

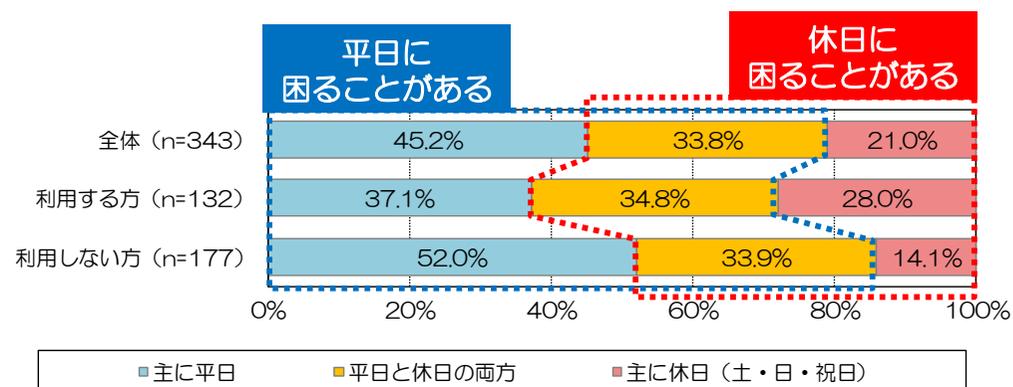
(3) 外出時の困りごとについて (3/5)

- 外出時に困ることがあるときの時期は、「平日（主に平日+平日と休日の両方）」の割合が約79%、「休日（主に休日+平日と休日の両方）」が約55%である。
- 年齢別で見ると、高齢になるにつれて、「平日（主に平日+平日と休日の両方）」の割合が高くなり、「休日（主に休日+平日と休日の両方）」の割合が低くなっている。
- バス利用の有無で見ると、バスを利用する方は「休日（主に休日+平日と休日の両方）」の割合が高く、バスを利用しない方は「平日（主に平日+平日と休日の両方）」の割合が高くなっている。

●外出時に困ることがあるときの時期（年齢別）



●外出時に困ることがあるときの時期（バス利用の有無別）



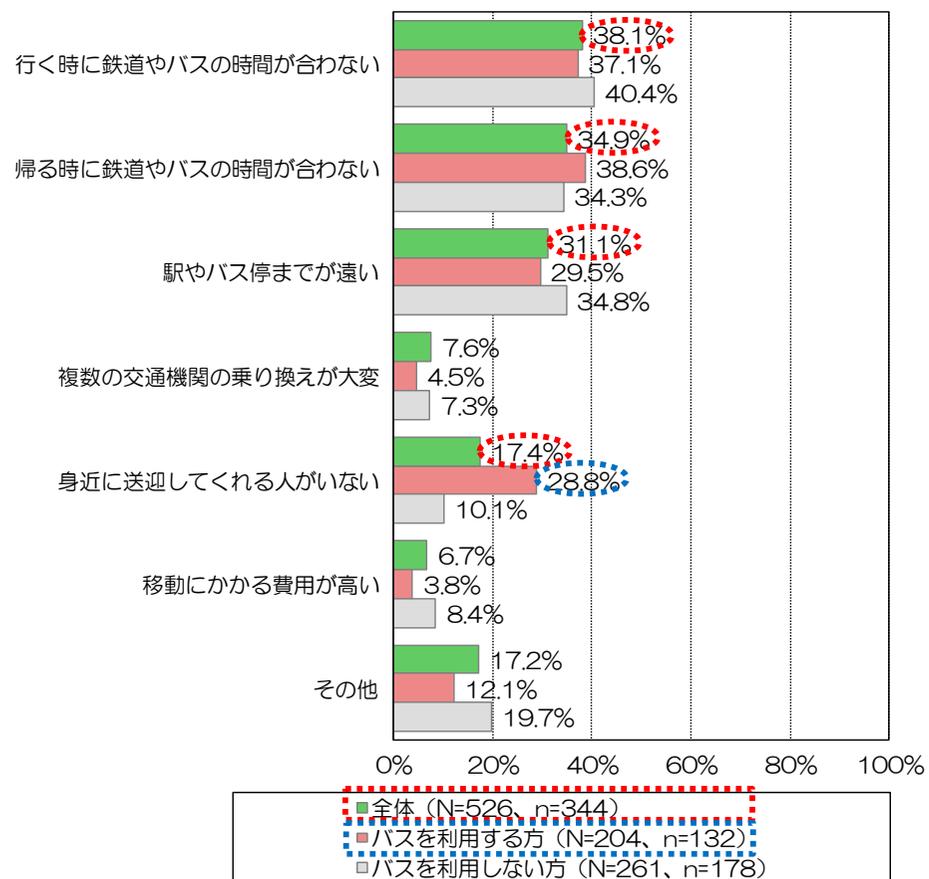
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(3) 外出時の困りごとについて (4/5)

- 外出時に困る理由は、「行く時に鉄道やバスの時間が合わない」の割合が最も高く、次いで「帰る時に鉄道やバスの時間が合わない」、「駅やバス停までが遠い」、「身近に送迎してくれる人がいない」の順である。
- バス利用の有無でみると、バスを利用する方は「身近に送迎してくれる人がいない」の割合がバスを利用しない方と比べて高くなっている

●外出時に困る理由 (バス利用の有無別)



※複数回答 (外出時に困る理由)

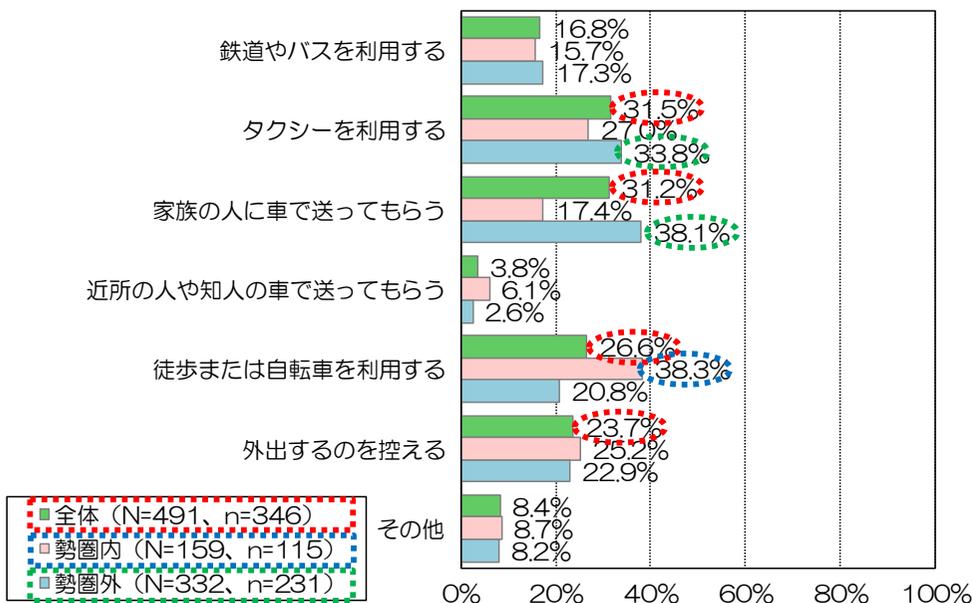
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

4. 普段の外出状況について

(3) 外出時の困りごとについて (5/5)

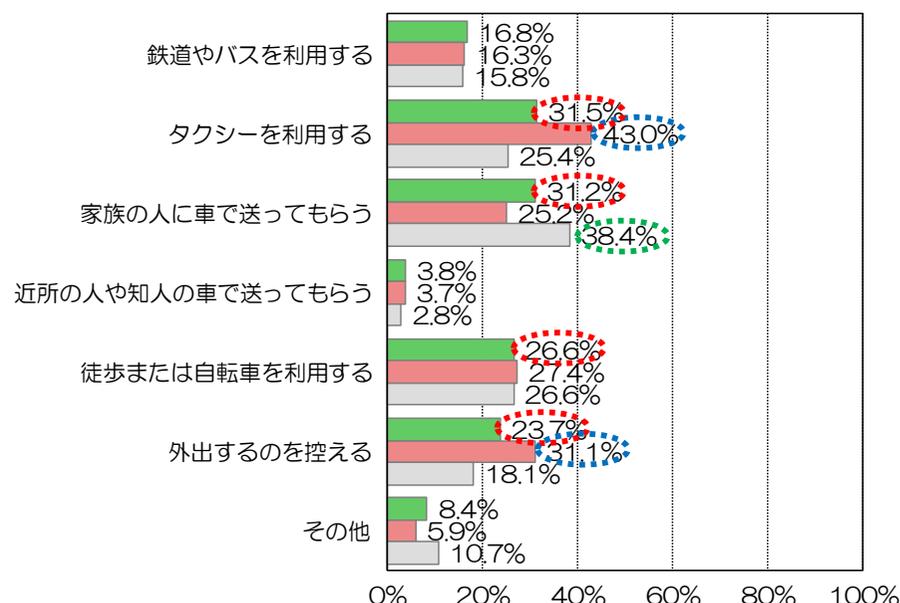
- 外出時に困るときの対応方法は、「タクシーを利用する」の割合が最も高く、次いで「家族の人に車で送ってもらう」、「徒歩または自転車を利用する」、「外出するのを控える」の順である。
- 勢圏内は「徒歩または自転車を利用する」の割合が最も高く、勢圏外と比べても高くなっている。勢圏外は「家族の人に車で送ってもらう」の割合が最も高く、勢圏内と比べても高くなっている。
- バス利用の有無でみると、バスを利用する方は「タクシーを利用する」の割合が最も高く、次いで「外出するのを控える」であり、いずれも勢圏外と比べて高くなっている。バスを利用しない方は、「家族の人に車で送ってもらう」の割合が最も高く、圏内と比べても高くなっている。

●外出時に困るときの対応方法



※複数回答 (外出時に困るときの対応方法)

●外出時に困るときの対応方法 (バス利用の有無別)



※複数回答 (外出時に困るときの対応方法)

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

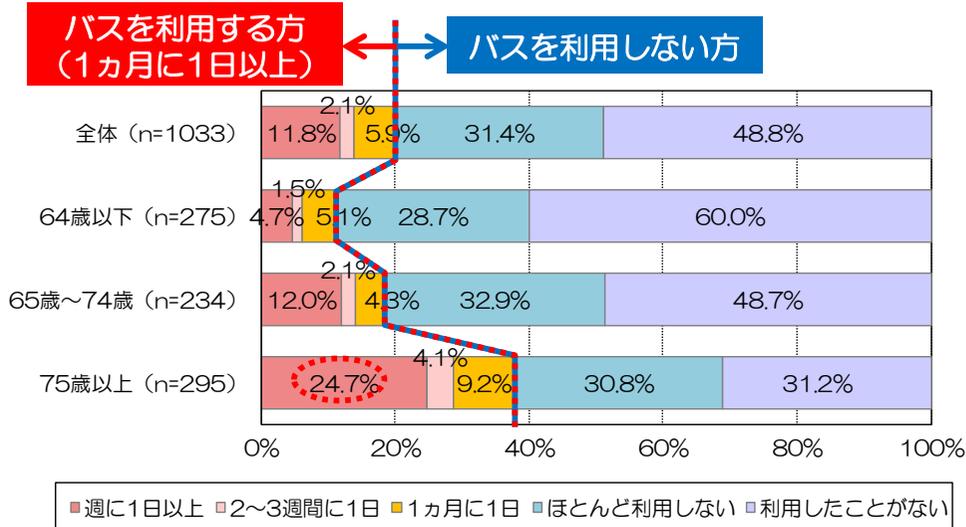
(1) 市内循環バスの認知度と利用の有無、よく利用する停留所

- 市内循環バスの認知度は、「知っている」の割合が約88%である。年齢別でみると、「知っている」の割合は高齢になるにつれて高くなる傾向にある。
- 市内循環バスの利用の有無は、「1ヵ月に1日以上利用する方（週に1日以上+2~3週間に1日+1ヵ月に1日）」の割合が約20%であり、「利用したことがない」が約49%である。年齢別でみると、75歳以上は「1ヵ月に1日以上利用する方（週に1日以上+2~3週間に1日+1ヵ月に1日）」の割合が高くなる傾向にある。
- よく利用する出発地の停留所は、「雁多尾畑」が最も多く、次いで「国分駅東口」、「青谷」、「田辺」、「アクアピア前」の順である。
- よく利用する目的地の停留所は、「国分駅東口」が最も多く、次いで「JR高井田駅」、「市立柏原病院前」の順である。

●市内循環バスの認知度（年齢別）



●市内循環バスの利用の有無（年齢別）



●よく利用する出発地の停留所

停留所名称	回答者数
雁多尾畑	46
国分駅東口	21
青谷	18
田辺	13
アクアピア前	11
東条	8
堅上小学校前	7
JR高井田駅	5
市立柏原病院前	5
青谷西	5

※ 回答者数n=5以上の停留所のみ表示

●よく利用する目的地の停留所

停留所名称	回答者数
国分駅東口	89
JR高井田駅	46
市立柏原病院前	15
市役所前	8
老人福祉センター前	6
国分駅西口	5

※ 回答者数n=5以上の停留所のみ表示

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

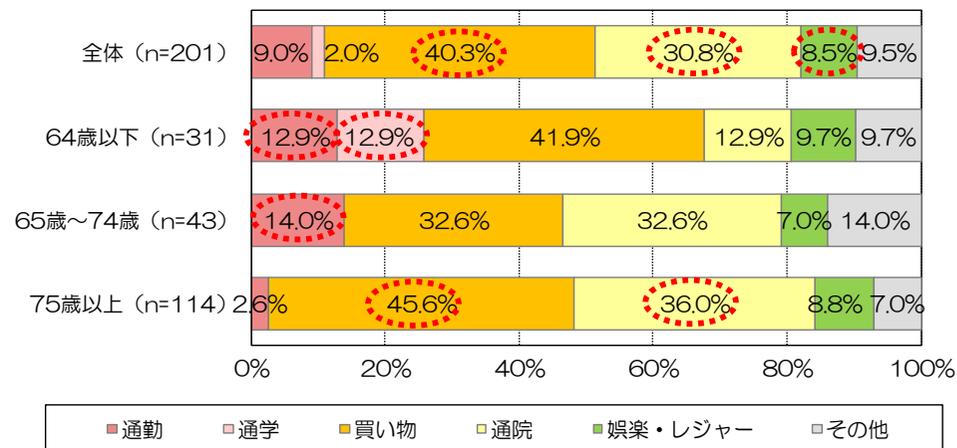
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

(2) 市内循環バスの利用状況

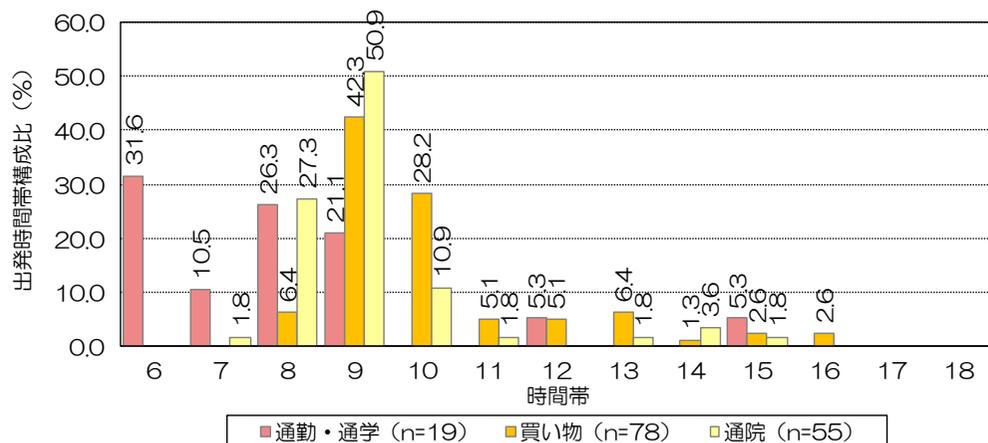
- 市内循環バスの主な利用目的は、「買い物」の割合が約40%と最も多く、次いで「通院」が約31%、「通勤」及び「娯楽・レジャー」がともに約9%である。
- 年齢別で見ると、64歳以下では「通勤」及び「通学」、65歳～74歳では「通勤」の割合が他の世代と比べて高く、高齢になるにつれて、「通院」の割合が高くなっている。
- 出発時間帯を主な利用目的別で見ると、「通勤・通学」は6時台～9時台、「買い物」は9時台～10時台、「通院」は8時台～9時台で多く見受けられる。
- 帰宅時間帯を主な利用目的別で見ると、「通勤・通学」は16時台～18時台、「買い物」は11時台～12時台及び15時台～16時台、「通院」は12時台～15時台で多く見受けられる。

※バスを利用する方
(1カ月に1日以上)が対象

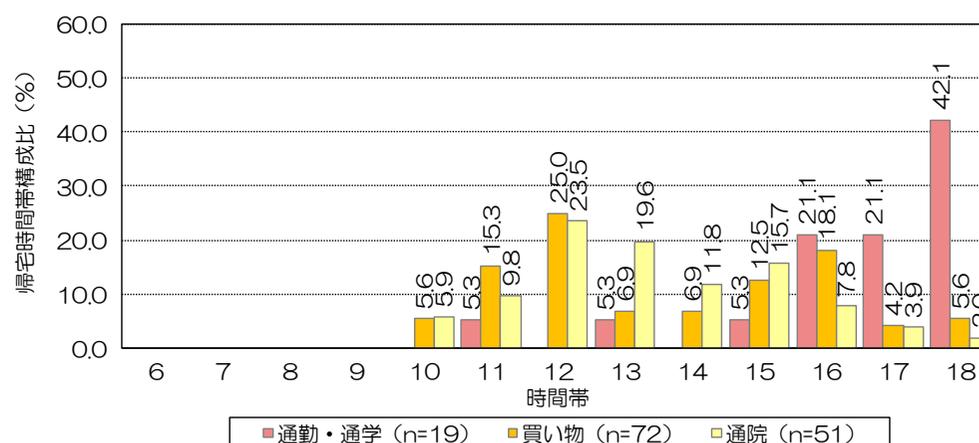
●主な利用目的 (年齢別)



●出発時間帯 (主な利用目的別)



●帰宅時間帯 (主な利用目的別)



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

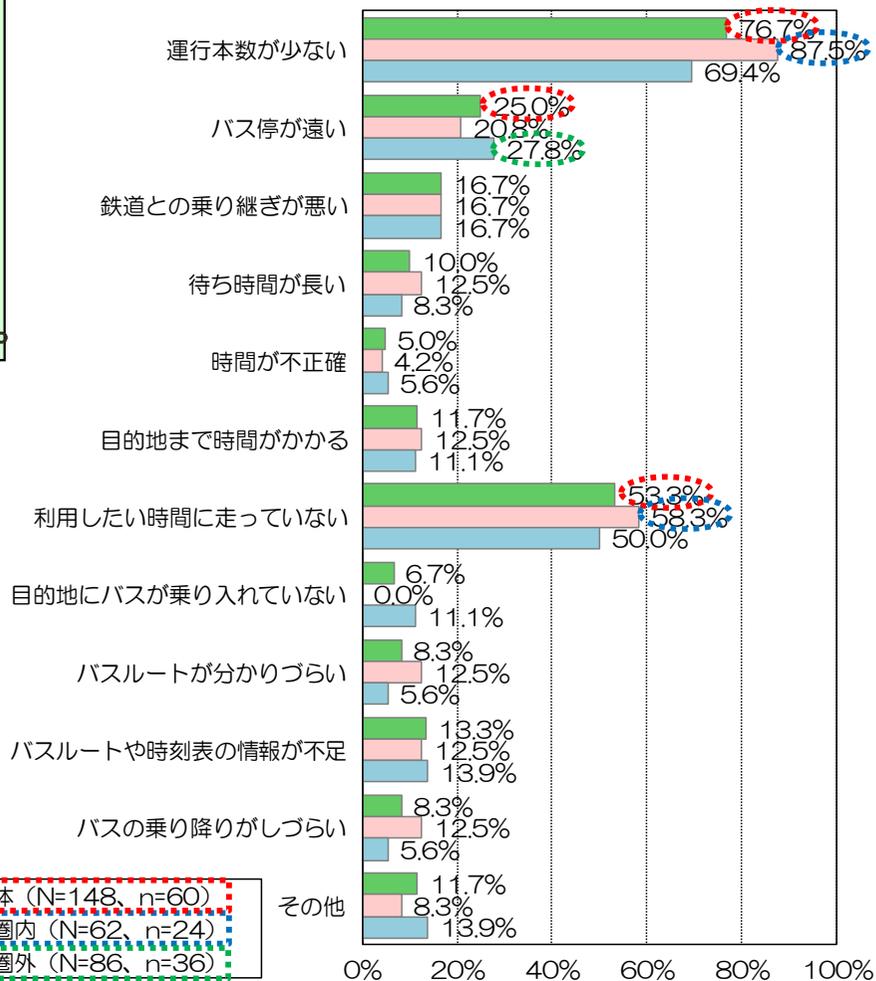
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

(3) 市内循環バスの移動に対する満足度

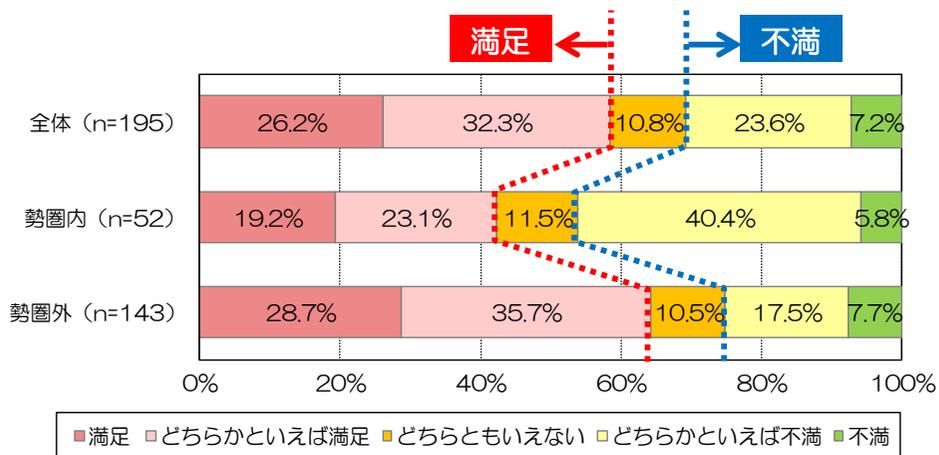
- 市内循環バスでの移動に対する満足度を見ると、「満足（満足+どちらかといえば満足）」の割合が約59%であり、「不満（どちらかといえば不満+不満）」が約31%である。
- 勢圏外での「満足（満足+どちらかといえば満足）」の割合が約64%であり、高くなっている。
- 不満の理由は、「運行本数が少ない」が最も多く、次いで「利用したい時間に走っていない」、「バス停が遠い」の順である。
- 「運行本数が少ない」の割合は勢圏内が勢圏外に比べて高く、「バス停が遠い」は勢圏外が勢圏内と比べて高くなっている。

※バスを利用する方（1カ月に1日以上）が対象

●市内循環バスでの移動に対する不満の理由



●市内循環バスでの移動に対する満足度



※複数回答（市内循環バスでの移動に対する不満の理由）

※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

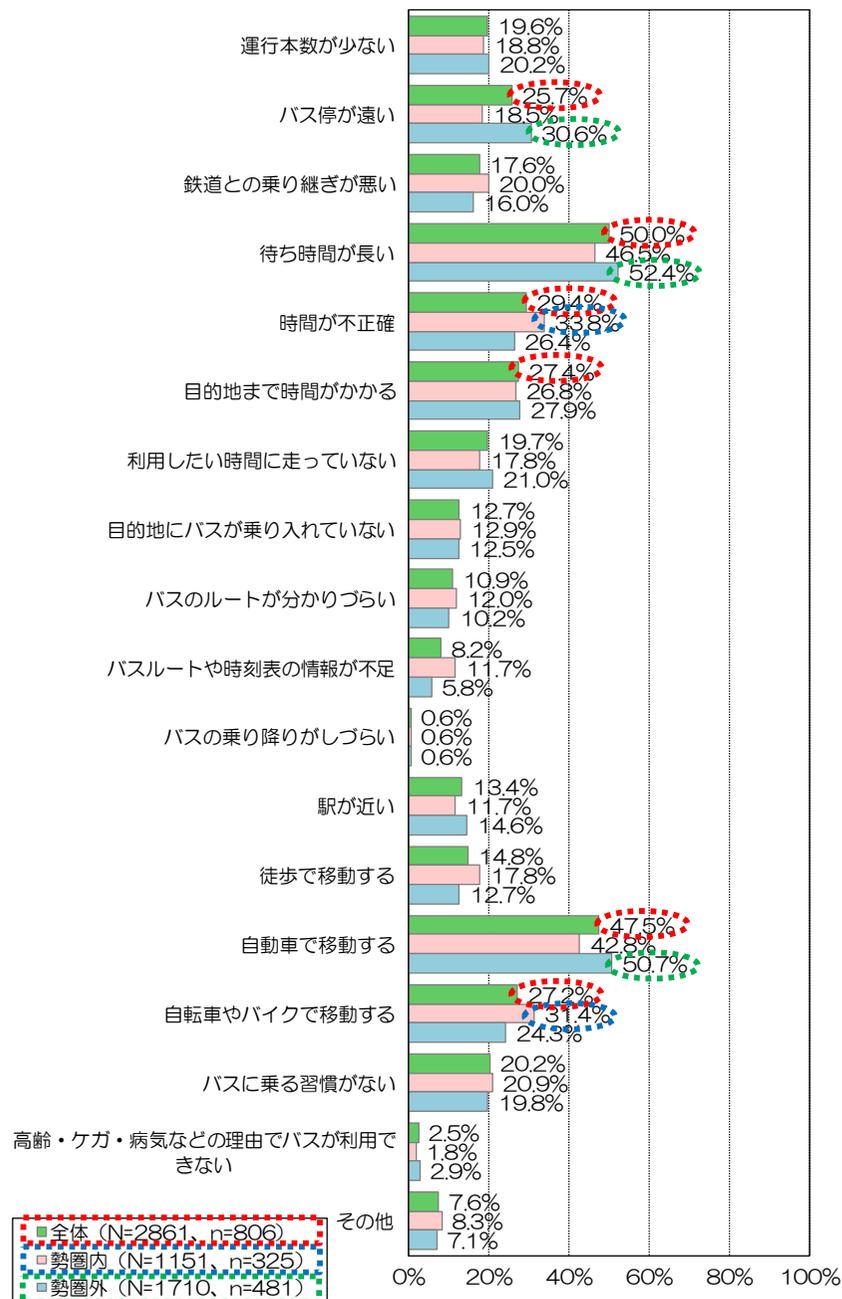
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

※バスを利用しない方が対象

(4) 市内循環バスを利用しない理由

- バスを利用しない方が市内循環バスを利用しない理由を見ると、「待ち時間が長い」の割合が最も高く、次いで「自動車で移動する」、「時間が不正確」、「目的地まで時間がかかる」、「自転車やバイクで移動する」、「バス停が遠い」の順である。
- 勢圏内では「時間が不正確」、「自転車やバイクで移動する」の割合が勢圏外と比べて高い。
- 勢圏外では「待ち時間が長い」、「自動車で移動する」、「バス停が遠い」の割合が勢圏内と比べて高い。

●市内循環バスを利用しない理由



※複数回答（市内循環バスを利用しない理由）

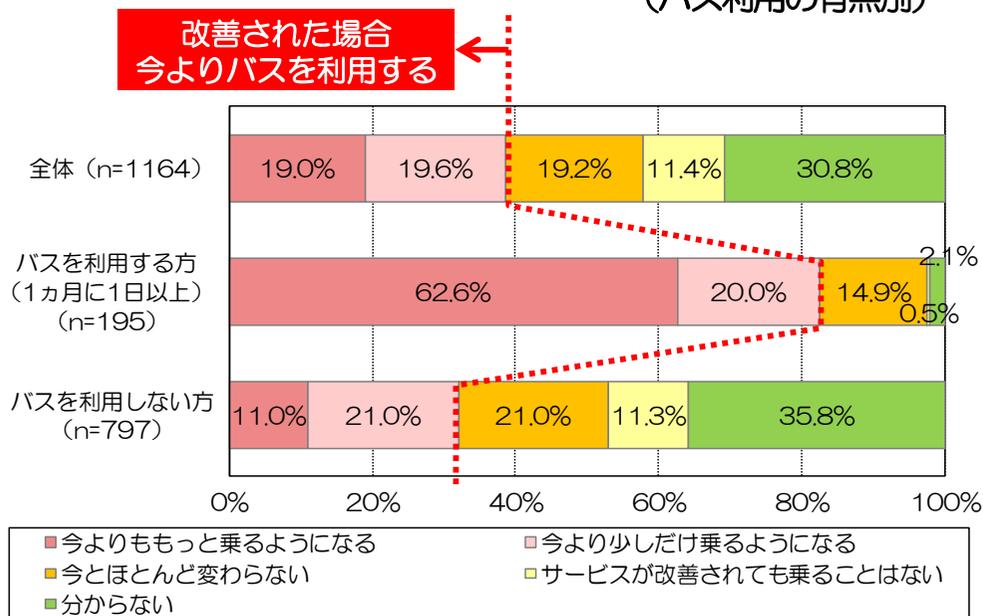
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

(5) サービス改善による市内循環バス利用意向

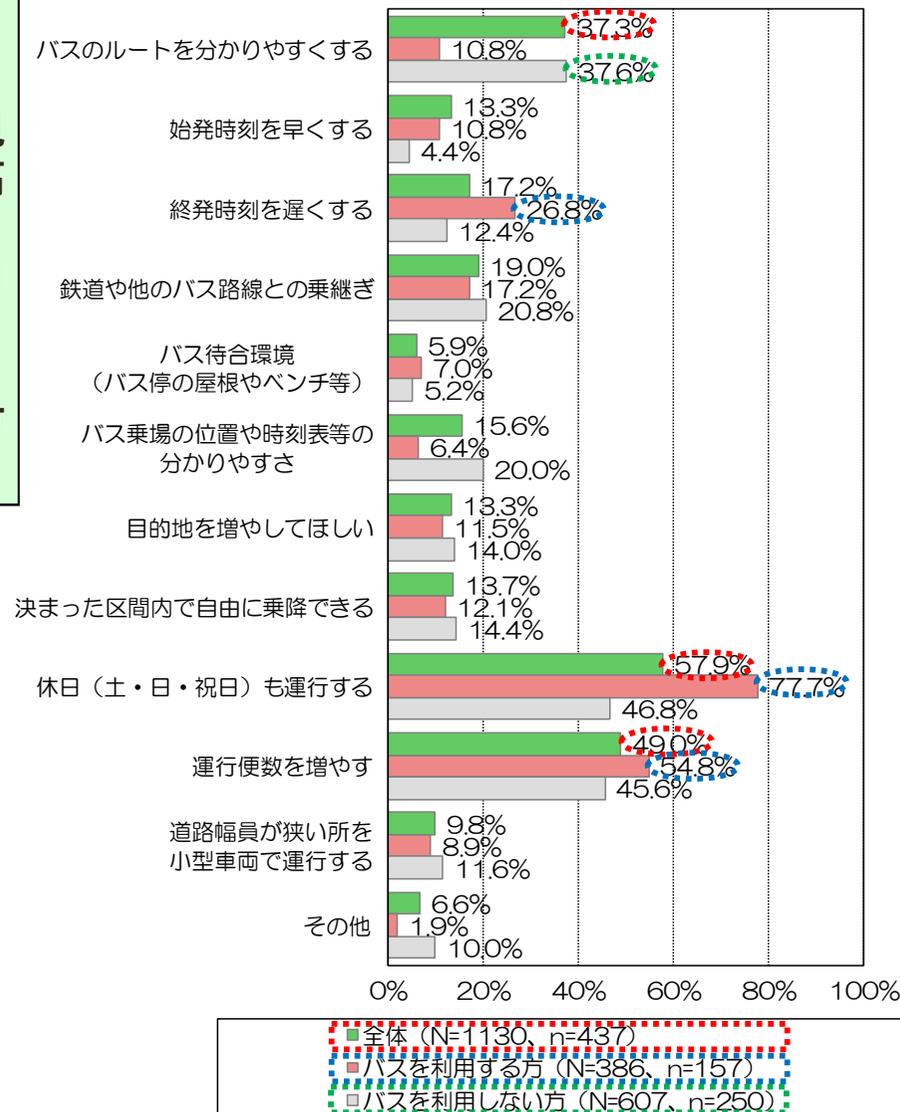
- バスサービスが改善された場合における市内循環バス利用の変化をバス利用の有無別にみると、バスを利用する方はバス利用の増加が見込まれる。バスを利用したことがない方は、約3割がバスを利用すると回答している。
- 市内循環バスの利用を増加させるために改善すべき項目を見ると、「休日（土・日・祝日）も運行する」の割合が最も高く、次いで「運行便数を増やす」、「バスのルートを知りやすくする」の順である。バス利用有無別で見ると、「休日（土・日・祝日）も運行する」、「運行便数を増やす」、「終発時刻を遅くする」がバスを利用する方の割合が高く、「バスのルートを知りやすくする」がバスを利用しない方の割合が高い。

●バスサービスが改善された場合における市内循環バス利用の変化
(バス利用の有無別)



※全ての方が対象

●市内循環バスの利用を増加させるために改善すべき項目
(バス利用状況別)



※複数回答 (市内循環バスの利用を増加させるために改善すべき項目)
※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

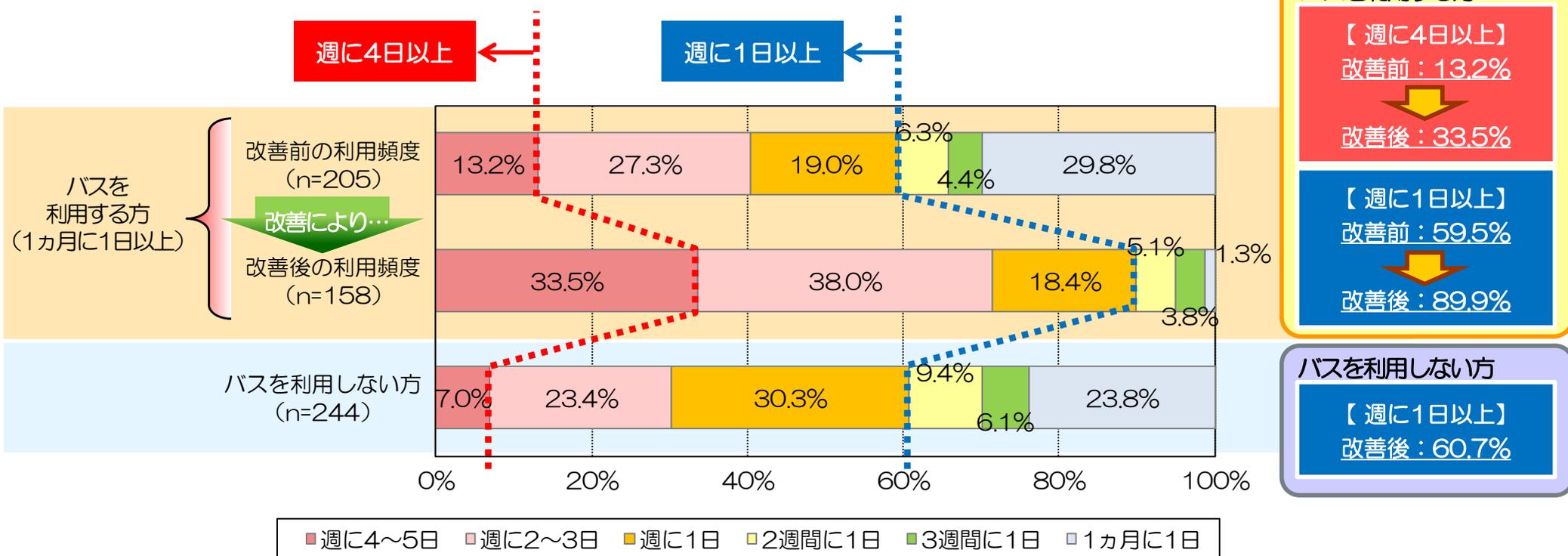
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

(6) サービス改善によるバス利用意向

※全ての方が対象

- サービスが改善された場合における利用頻度の変化をバスの利用の有無別にみると、バスを利用する方は、サービスの改善後の利用頻度が改善前と比べて、「週に4日以上」の割合が約2割、「週に1日以上」の割合が約3割増加している。
- バスを利用しない方のサービス改善による利用頻度は、「週に1日以上」の割合が6割以上を占める。

●サービスが改善された場合における利用頻度の変化（バス利用の有無別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

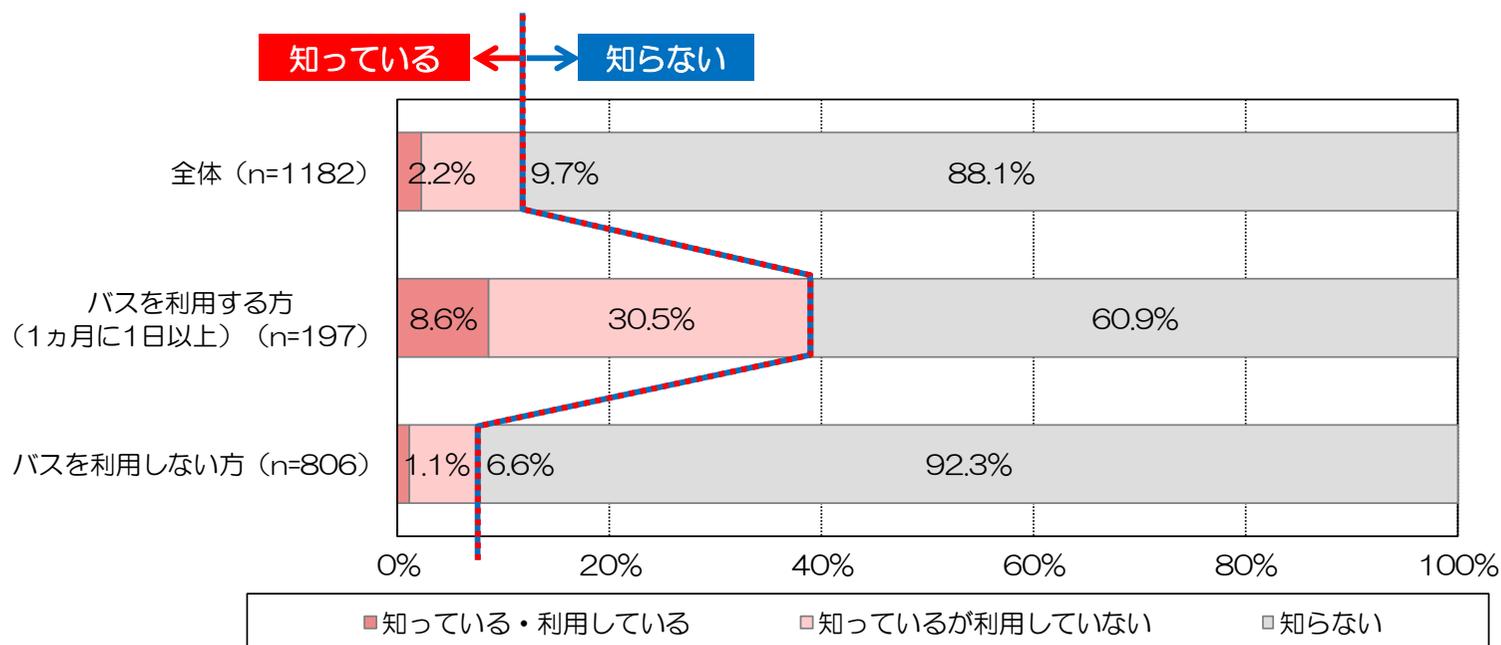
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

(7) 市内循環バスのバスロケーションシステムの認知度

※全ての方が対象

- バスロケーションシステムの認知度は、「知っている・利用している+知っているが利用していない」が約12%である。
- バス利用の有無でみると、バスを利用する方は、「知っている・利用している+知っているが利用していない」の割合が約39%であるが、バスを利用しない方は、「知っている・利用している」が約8%となっている。

●バスロケーションシステムの認知度（バス利用の有無別）



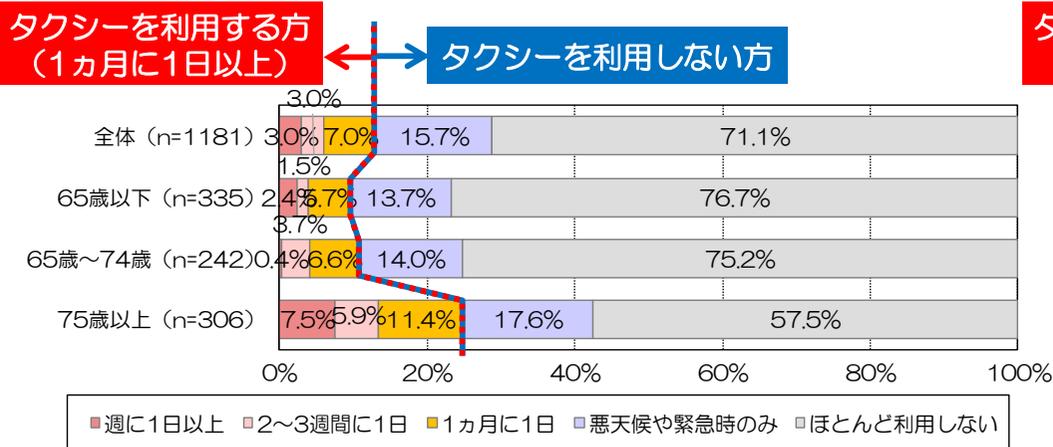
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

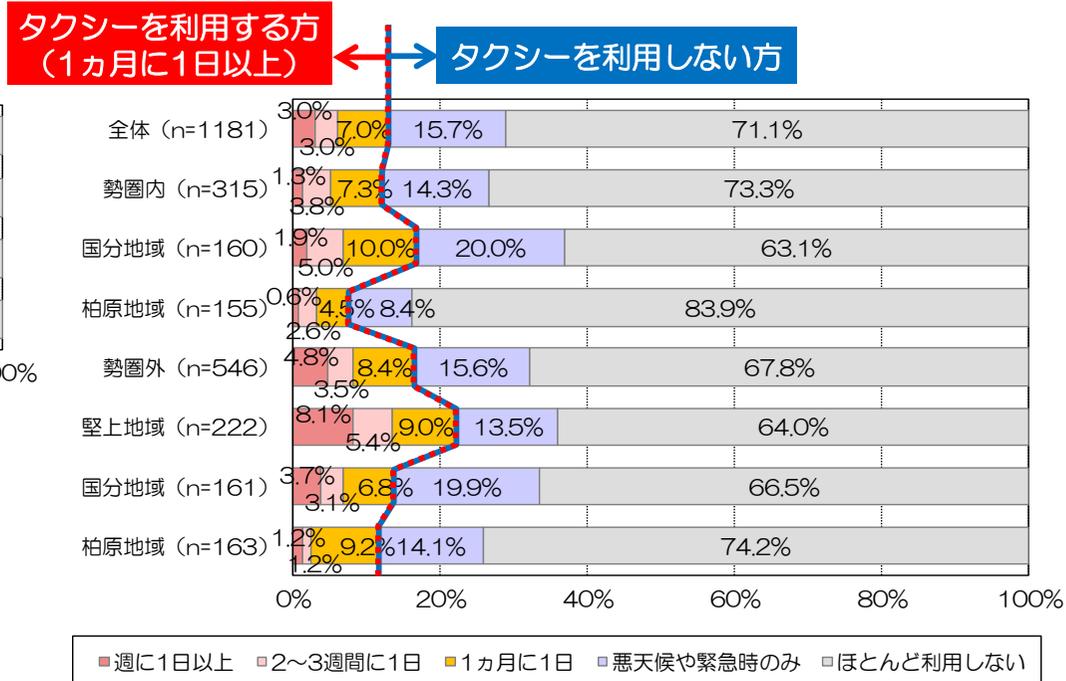
(8) タクシーの利用状況

- タクシーの利用状況は、「ほとんど利用しない」が約7割を占め、「1カ月に1日以上（週に1日以上+2~3週間に1日+ 1カ月に1日）」が約13%、「悪天候や緊急時のみ」が約16%である。
- 年齢別で見ると、75歳以上の「1カ月に1日以上（週に1日以上+2~3週間に1日+ 1カ月に1日）」の割合が他の世代と比べて高い。
- 住まいの地域別で見ると、堅上地域の「1カ月に1日以上（週に1日以上+2~3週間に1日+ 1カ月に1日）」の割合が他の地域と比べて高い。

●タクシーの利用状況（年齢別）



●タクシーの利用状況（住まいの地域別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

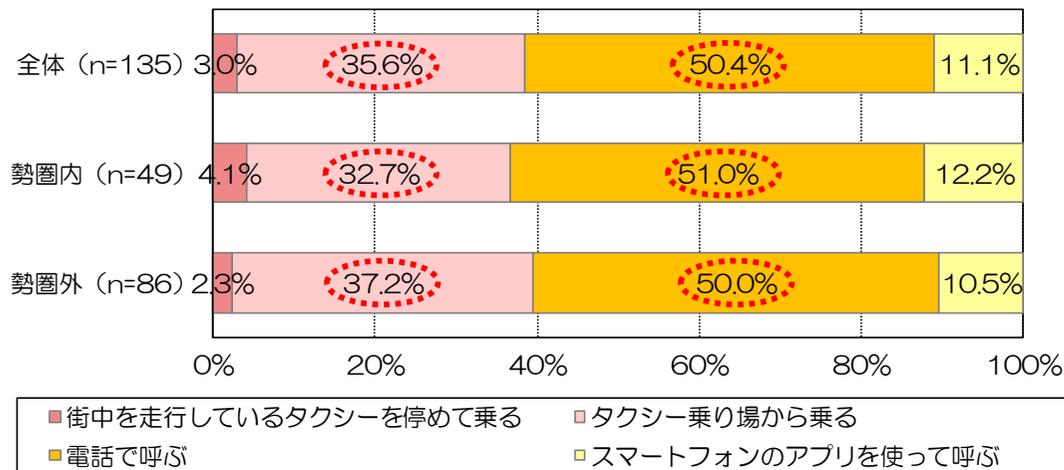
5. 柏原市内の公共交通の利用状況について

※タクシーを利用する方
(1カ月に1日以上)が対象

(9) タクシーの利用方法

- タクシーの利用方法は、「電話で呼ぶ」の割合が約50%と最も高く、次いで「タクシー乗り場から乗る」が約36%、「スマートフォンのアプリを使って呼ぶ」が約11%である。
- 勢圏内及び勢圏外ともに大きな違いは見受けられない。

●タクシーの利用方法



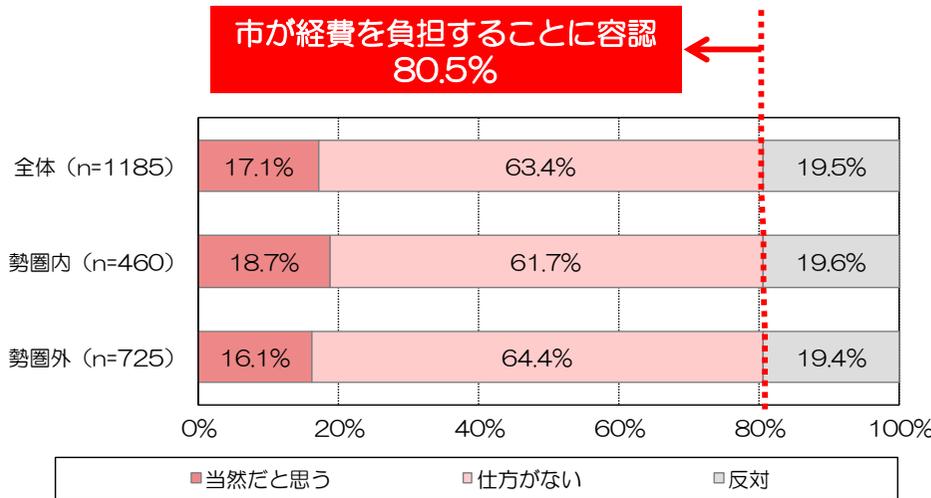
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

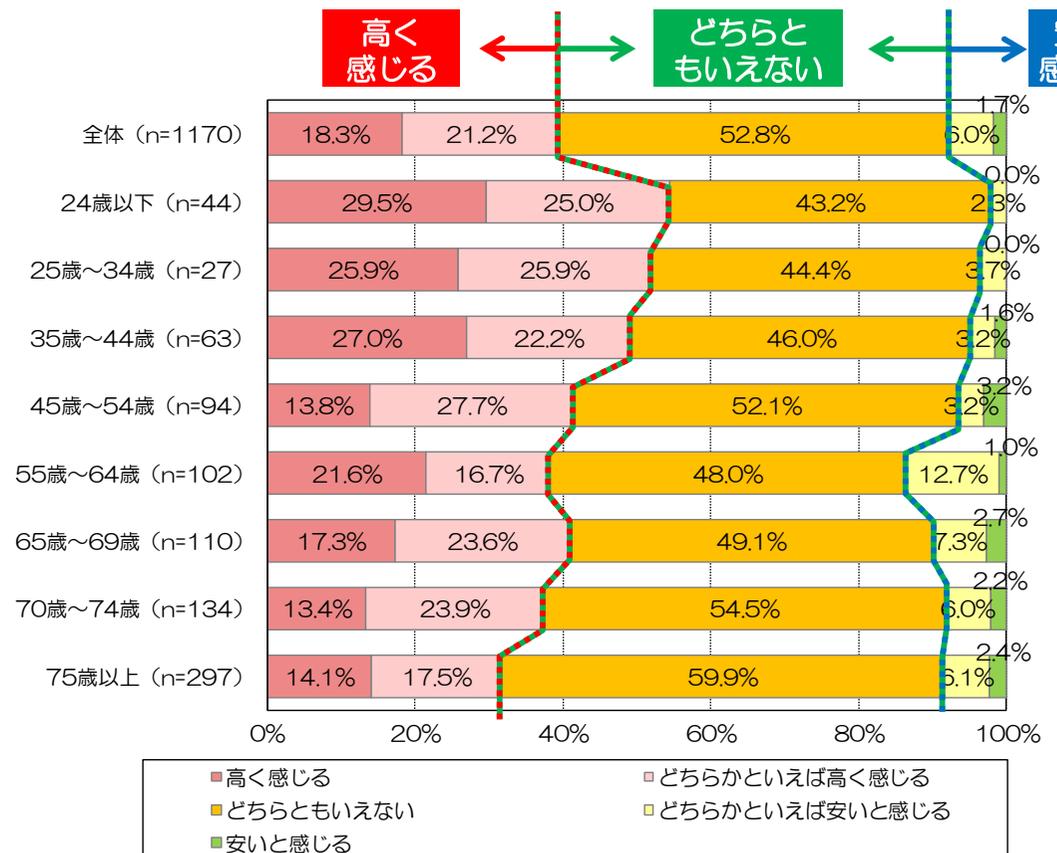
(1) 市がバスの運行経費を負担することについて

- バスを維持・充実させるために市が運行経費を負担することについては、回答者の約8割が容認している。また、勢圏内及び勢圏外ともに大きな違いは見受けられない。
- 柏原市がバスの運行経費を負担する金額については、「どちらともいえない」の割合が約53%と最も高く、次いで「高く感じる（高く感じる+どちらかといえば高く感じる）」が約40%を占める。
- 年齢別でみると、年齢が高齢になるにつれて、「高く感じる（高く感じる+どちらかといえば高く感じる）」の割合が減少し、「どちらともいえない」が増加する傾向が見受けられる。

●バスを維持・充実させるために市が運行経費を負担することについて



●柏原市がバスの運行経費を負担する金額について



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(2) 今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方について

- 今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方については、「現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき」の割合が約45%と最も高く、次いで「利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図ることにより、市の財政負担を減らすべき」が約24%である。
- バス利用の有無別でみると、「これまで通り財政負担を続け、現在と同様のサービスを維持すべき」の割合はバスを利用する方が高く、「利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図ることにより、市の財政負担を減らすべき」はバスを利用しない方が高い。
- 地域公共交通の取り組む方向別でグループ分けをすると、「サービスの向上を図るべき」は、バスを利用する方で約7割、バスを利用しない方で約6割を占める。

●今後の地域公共交通に対する財政負担の考え方について

	市民負担や財政負担を増やしても、今以上にサービスの向上を図るべき	現在と同程度の財政負担を維持したまま、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき	これまで通り財政負担を続け、現在と同様のサービスを維持すべき	利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図ることにより、市の財政負担を減らすべき	市内循環バス「きらめき号」は廃止すべき	回答者数
全体(n=1142)	11.8%	45.0%	15.1%	23.9%	4.2%	100.0%
バスを利用する方(n=188)	19.1%	50.0%	22.3%	8.5%	0.0%	100.0%
バスを利用しない方(n=775)	11.1%	45.7%	13.2%	25.7%	4.4%	100.0%

	サービスの向上を図るべき	現在と同様のサービスを維持すべき	利用が少ない路線や区間は、廃止や減便等の縮小を図るべき	市内循環バス「きらめき号」は廃止すべき	回答者数
全体(n=1142)	56.8%	15.1%	23.9%	4.2%	100.0%
バスを利用する方(n=188)	69.1%	22.3%	8.5%	0.0%	100.0%
バスを利用しない方(n=775)	56.8%	13.2%	25.7%	4.4%	100.0%

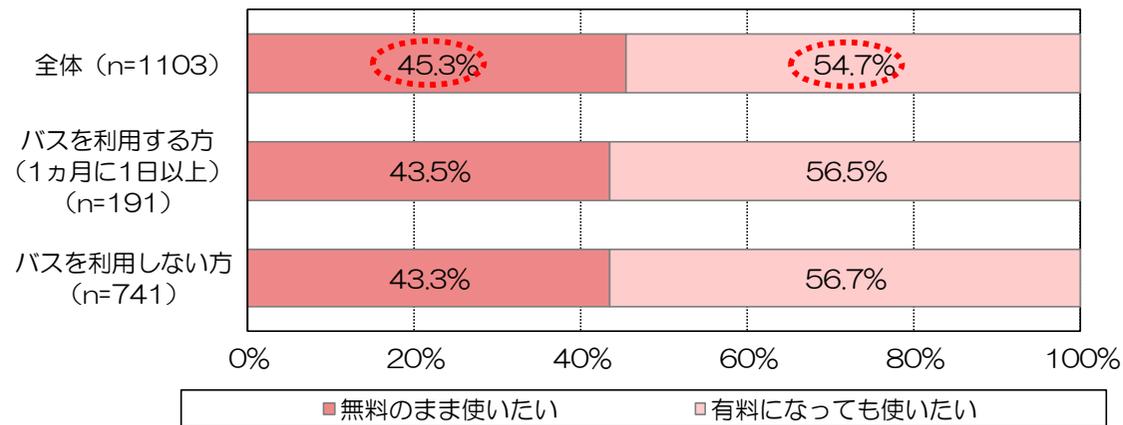
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(3) 市内循環バス「きらめき号」の有料化への受け入れについて

- 市内循環バス「きらめき号」の有料化への受け入れについては、「有料になっても使いたい」の割合が約55%、「無料のまま使い続けたい」が約45%である。
- バス利用の有無別でみると、大きな差は見受けられない。

●市内循環バス「きらめき号」の有料化への受け入れについて（バス利用の有無別）

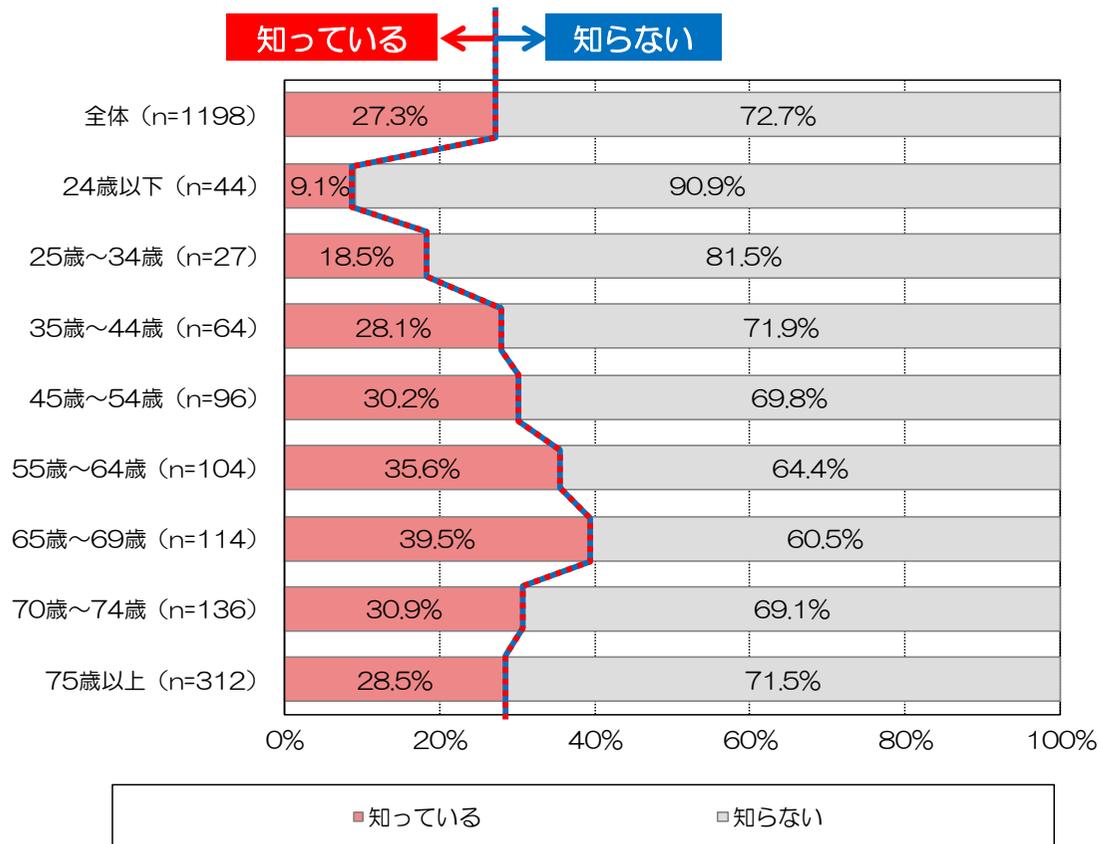


6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(4) デマンドタクシーの認知度

- デマンドタクシーの認知度は、「知っている」の割合が約27%である。
- 年齢別で見ると、「知っている」の割合は若年層では低く、65歳～69歳にかけて増加している。

●デマンドタクシーの認知度



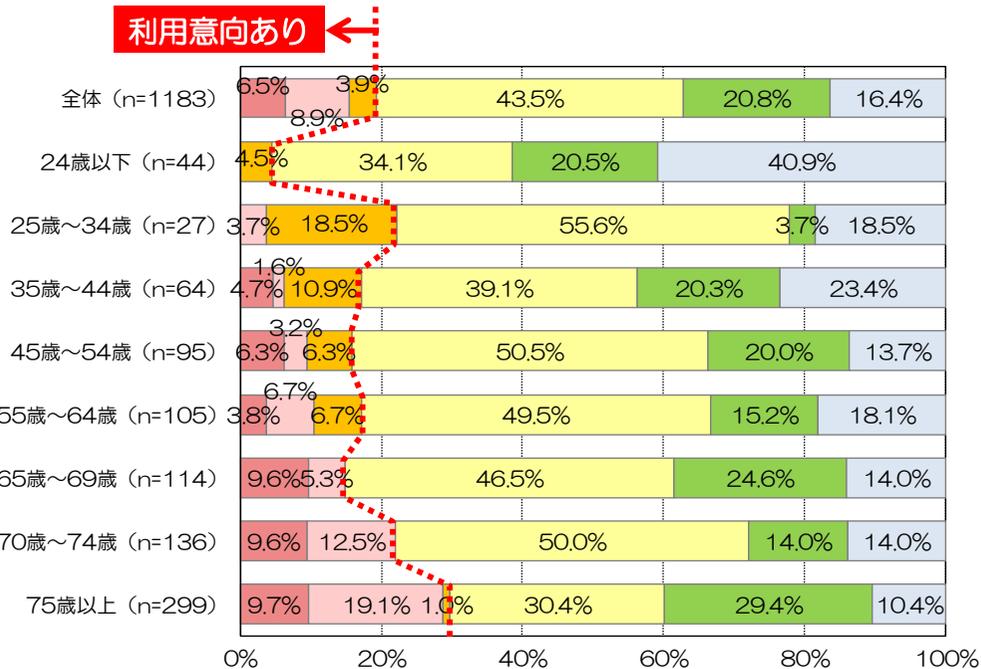
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

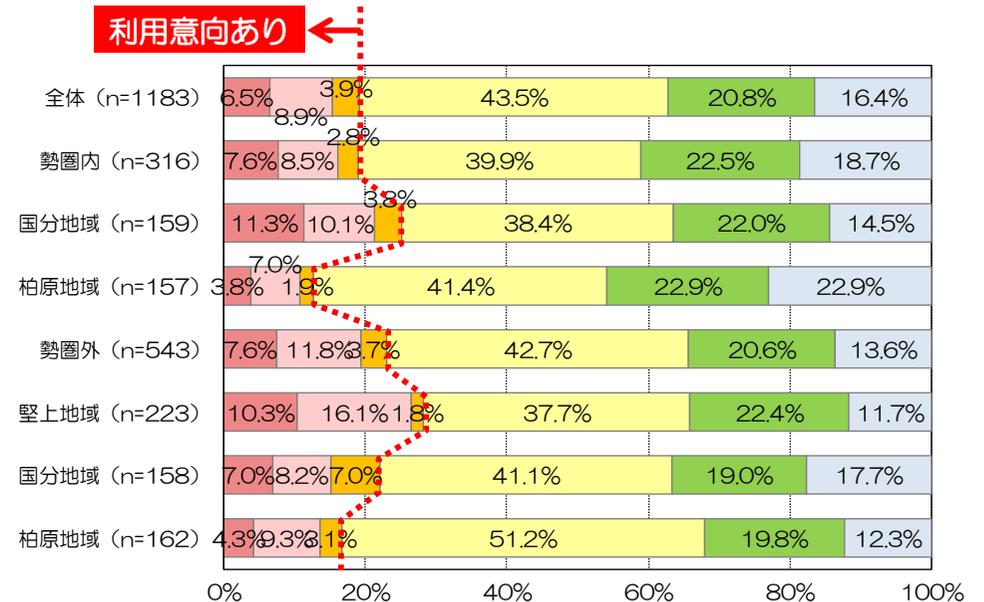
(5) デマンドタクシーの利用意向

- デマンドタクシーが運行されるようになった場合における利用意向は、「利用意向あり（利用する＋電話予約ができるのであれば利用する＋インターネットで予約ができるのであれば利用する）」の割合が約19%である。
- 年齢別で見ると、「利用意向あり（利用する＋電話予約ができるのであれば利用する＋インターネットで予約ができるのであれば利用する）」の割合は75歳以上が約30%と最も高く、次いで25歳～34歳及び70歳～74歳がともに約22%である。
- 地域別で見ると、「利用意向あり（利用する＋電話予約ができるのであれば利用する＋インターネットで予約ができるのであれば利用する）」の割合は堅上地域が約28%と最も高くなっている。

●デマンドタクシーの利用意向（年齢別）



●デマンドタクシーの利用意向（住まいの地域別）



- 利用する
- 電話予約ができるのであれば利用する
- インターネットで予約ができるのであれば利用する
- 必要な状態になれば利用する（高齢により自動車が運転できなくなった時など）
- わからない
- 利用しない

- 利用する
- 電話予約ができるのであれば利用する
- インターネットで予約ができるのであれば利用する
- 必要な状態になれば利用する（高齢により自動車が運転できなくなった時など）
- わからない
- 利用しない

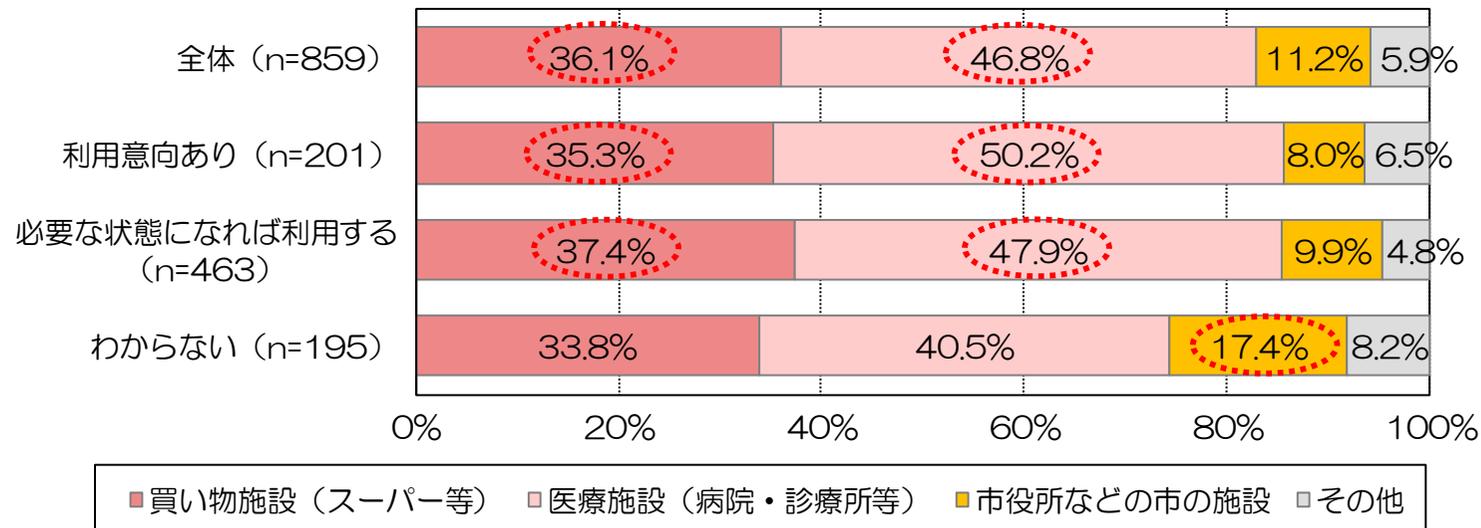
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(6) デマンドタクシー利用時における希望する行き先 (1/2)

- デマンドタクシー利用時における希望する行き先は、「医療施設」が最も多く、次いで「買い物施設」である。
- デマンドタクシーの利用意向別にみると、「利用意向あり（利用する＋電話予約ができるのであれば利用する＋インターネットで予約できるのであれば利用する）」と必要な状態になれば利用するでは、大きな違いは見受けられない。「わからない」は「市役所などの市の施設」の割合が他と比べて、やや高くなっている。

●デマンドタクシー利用時における希望する行き先 (利用意向別)



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(6) デマンドタクシー利用時における希望する行き先 (2/2)

- 外出目的別の行き先をみると、買い物では河内国分駅周辺の「ライフ国分店」や「食品館アプロ国分店」が多く、一部で八尾市内の施設がみられる。
- 医療施設では、「市立柏原病院」の回答がほとんどである。
- 市の施設では、「市役所」の回答がほとんどである。

●デマンドタクシーで行きたい施設 (上位最大5位まで)

・買い物施設の目的地

1	ライフ(店舗不明)	25
2	万代(店舗不明)	10
3	ライフ国分店	8
4	スーパーヤオヒコ(店舗不明)	6
5	食品館アプロ国分店	5
5	サンディ(店舗不明)	5
6	イズミヤ(店舗不明)	4
7	イズミヤ八尾店	3
7	サンプラザ(店舗不明)	3
8	万代柏原本郷店	2
8	アリオ八尾	2
8	イオン(店舗不明)	2
回答数 合計		102
回答者数		66

・医療施設の目的地

1	市立柏原病院	54
2	医療法人徳洲会全南病院	4
3	白岩内科医院	3
4	さかいペインクリニック	1
4	ほりもと内科消化器クリニック	1
4	みなみ耳鼻咽喉科クリニック	1
4	あかし内科クリニック	1
4	西村歯科医院	1
4	吉原クリニック	1
4	小路医院	1
4	井関クリニック	1
4	まつもと耳鼻咽喉科	1
4	医真会八尾総合病院	1
4	医学研究所北野病院	1
4	医療法人藤井会香芝生喜病院	1
4	医真会総合クリニックス	1
4	八尾こころのホスピタル	1
4	社会医療法人高清会香芝旭ヶ丘病院	1
	その他	16
回答数 合計		92
回答者数		81

・市役所などの市の施設の目的地

1	柏原市役所	23
2	柏原市立保健センター	1
2	老人福祉センター やすらぎの園	1
2	アゼリア柏原	1
2	市立体育館	1
2	柏原市民文化会館(リビエールホール)	1
2	健康福祉センター(オアシス)	1
2	柏原市立図書館(柏原or国分)	1
2	男女共同参画センターフローラルセンター	1
2	サンヒル柏原	1
	その他	3
回答数 合計		35
回答者数		30

:市内
 :市外
 :不明

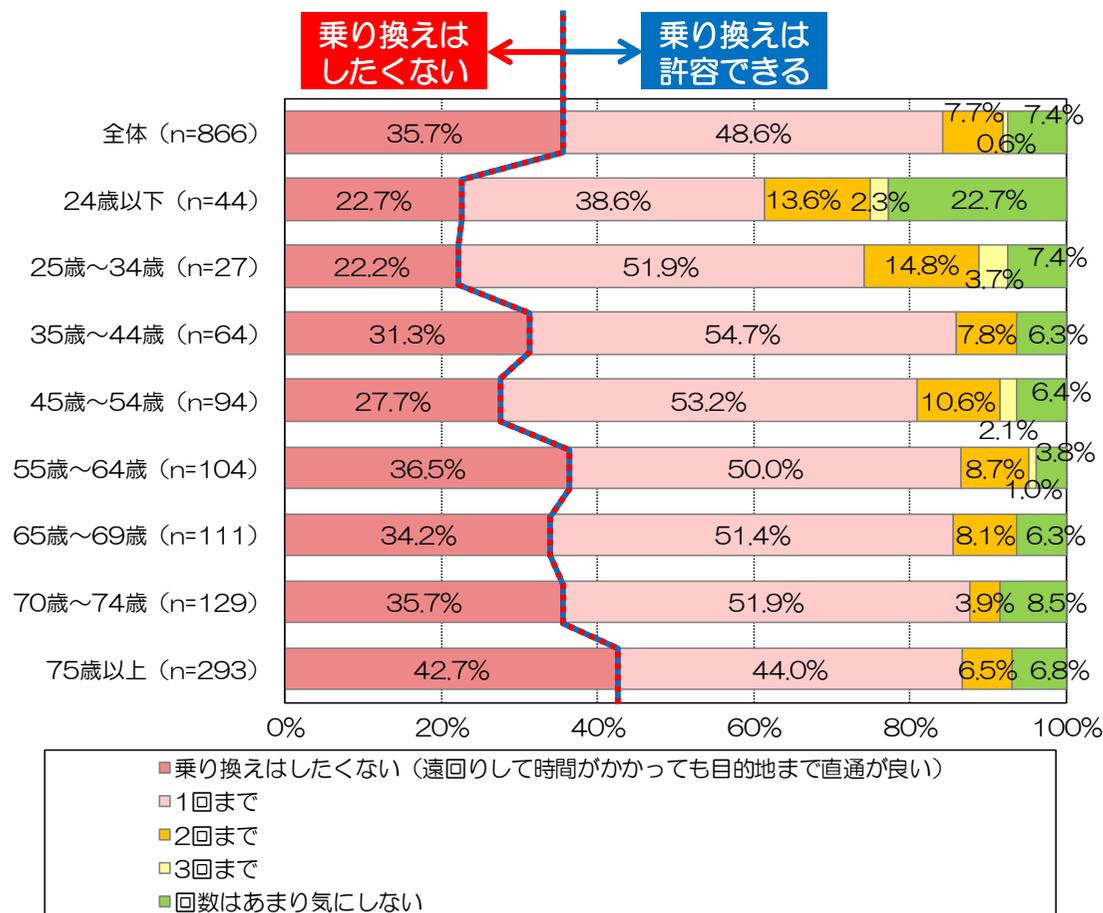
6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(7) バス利用時における乗り換え可能な回数

○ バス利用時における乗り換え可能な回数は、「1回まで」の割合が約49%と最も高く、次いで「乗り換えはしたくない」が約36%である。「乗換は許容できる（1回まで+2回まで+3回まで+回数はあまり気にしない）」の割合は約64%を占める。

○ 年齢別でみると、75歳以上の「乗り換えはしたくない」の割合は、他の世代に比べて高くなっている。

●バス利用時における乗り換え可能な回数（年齢別）



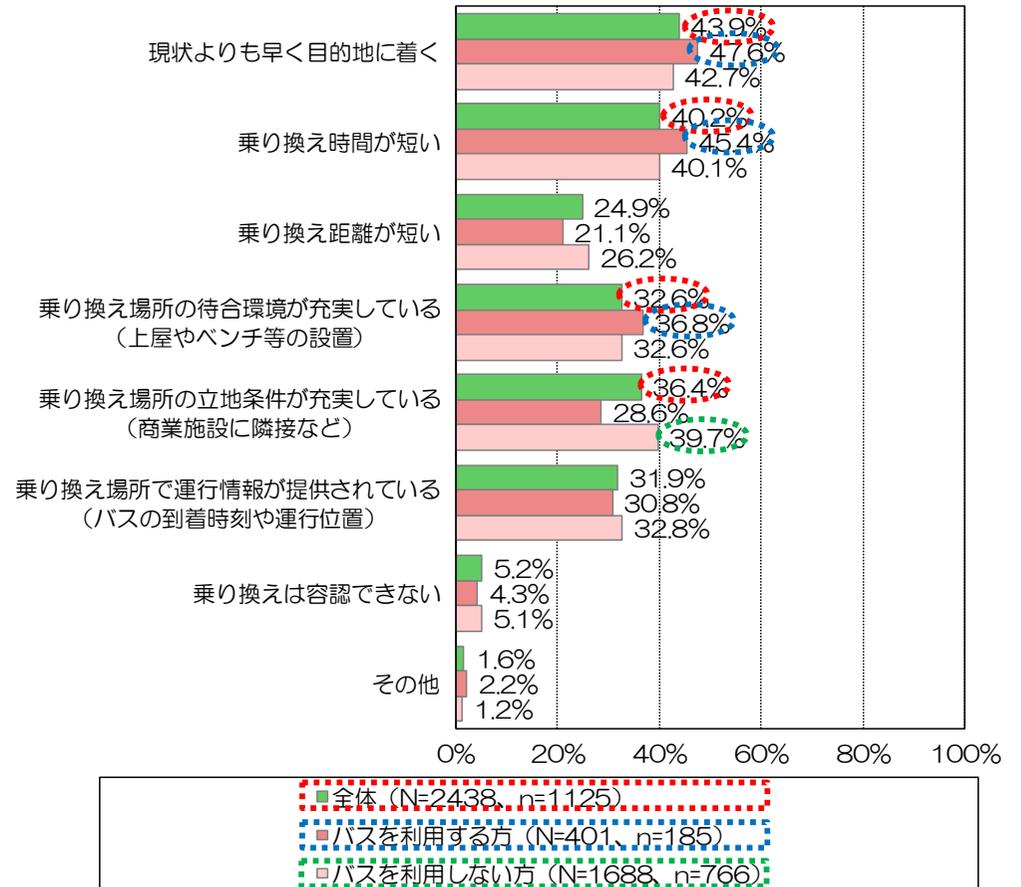
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

6. 公共交通への税負担や必要性等に関する意識について

(8) 乗り継ぎ拠点が整備される場合において許容できる条件

- 乗り継ぎ拠点が整備される場合において許容できる条件は、「現状よりも早く目的地に着く」が最も多く、次いで「乗り換え時間が短い」、「乗り換え場所の立地条件が充実している」、「乗り換え場所の待合環境が充実している」の順である。
- バス利用の有無別でみると、バスを利用する方は、「現状よりも早く目的地に着く」、「乗り換え時間が短い」、「乗り換え場所の待合環境が充実している」の割合がバスを利用しない方と比べて高い。バスを利用しない方は、「乗り換え場所の立地条件が充実している」がバスを利用する方と比べて高い。

●乗り継ぎ拠点が整備される場合において許容できる条件
(バス利用の有無別)



※複数回答 (乗り継ぎ拠点が整備される場合において許容できる条件)

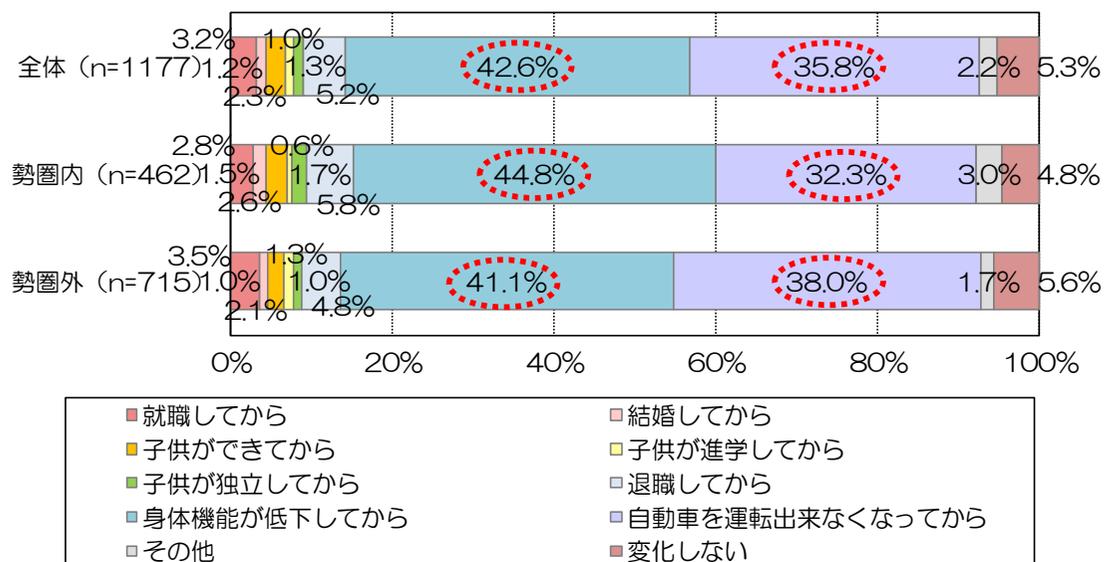
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

7. 将来における外出について

(1) 将来における外出先や外出方法が変化すると思う時期

- 将来における外出先や外出方法が変化すると思う時期は、「身体機能が低下してから」の割合が約43%と最も高く、次いで「自動車を運転出来なくなってから」が約36%である。
- 勢圏内及び勢圏外ともに大きな違いは見受けられない。

●将来における外出先や外出方法が変化すると思う時期



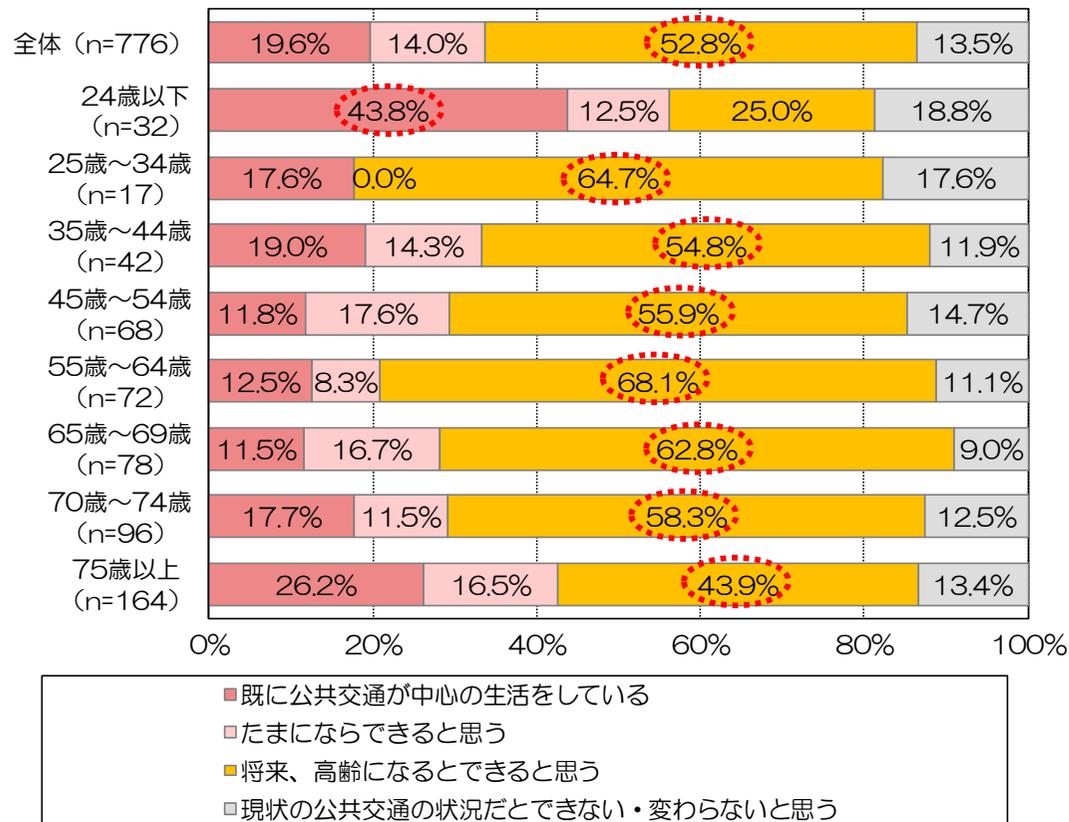
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

7. 将来における外出について

(2) 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向

- 自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向は、「将来、高齢になったらできると思う」が約53%を占める。
- 年齢別にみると、「既に公共交通が中心の生活をしている」の割合が24歳以下で約44%と最も多く占めており、「将来、高齢になるとできると思う」の割合が25歳以上の世代で約44%から約68%と半数前後を占める。

●自家用車中心の生活から公共交通中心の生活への転換意向（年齢別）



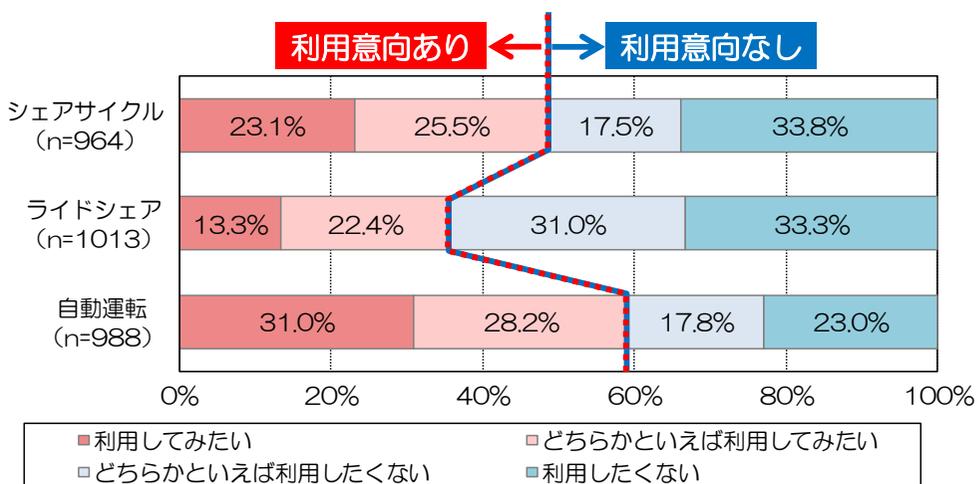
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

7. 将来における外出について

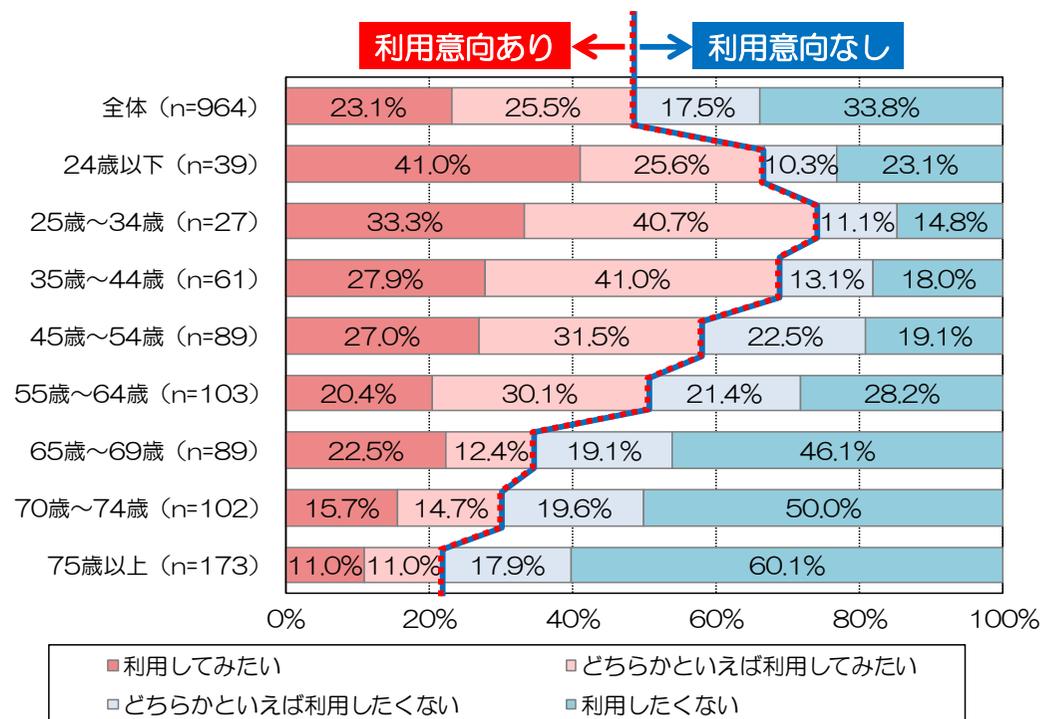
(3) 新たな移動手段に対する利用意向 (1/2)

- 新たな移動手段に対する利用意向は、「利用意向あり（利用してみたい+どちらかといえば利用してみたい）」の割合をみると、シェアサイクルが約49%、ライドシェアが約36%、自動運転が約59%である。
- シェアサイクルの利用意向を年齢別でみると、若年層での「利用意向あり（利用してみたい+どちらかといえば利用してみたい）」の割合が高く、高齢になるにつれて減少傾向にある。

●新たな移動手段に対する利用意向



●シェアサイクルの利用意向 (年齢別)



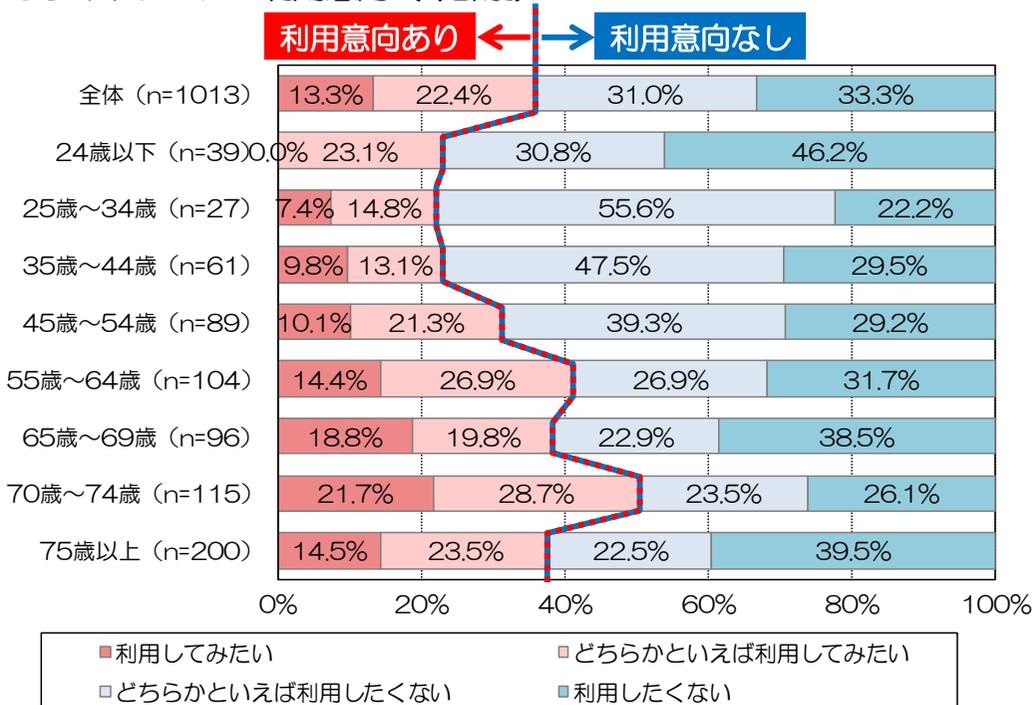
※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

7. 将来における外出について

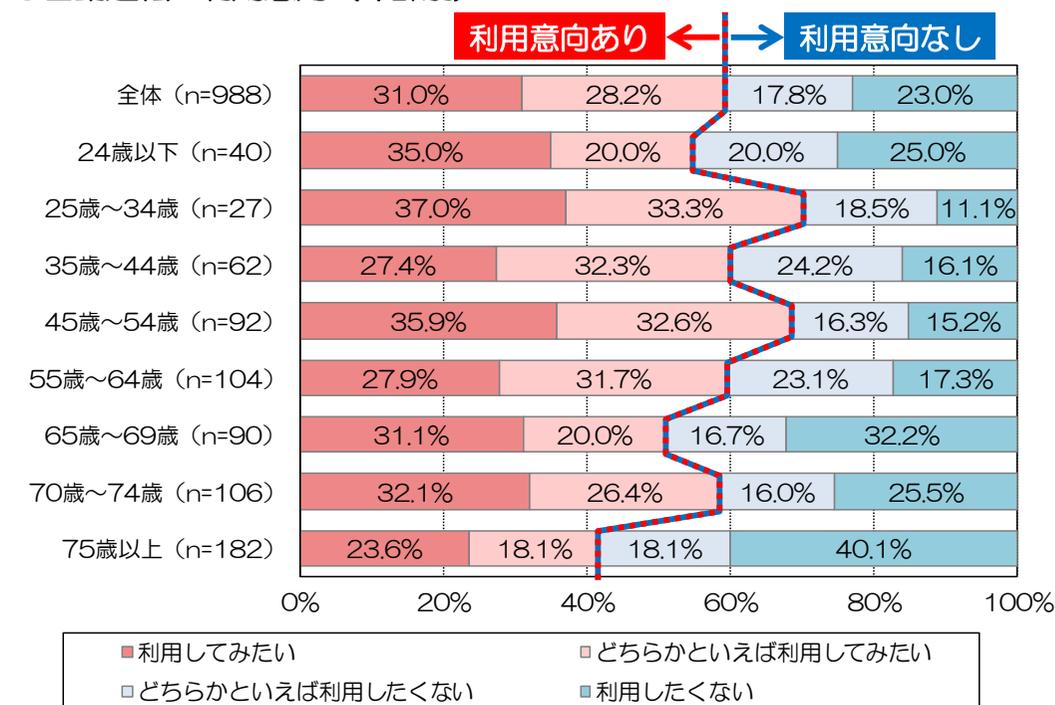
(3) 新たな移動手段に対する利用意向 (2/2)

- ライドシェアの利用意向を年齢別で見ると、「利用意向あり（利用してみたい+どちらかといえば利用してみたい）」の割合は、高齢になるにつれて、概ね増加する傾向にある。
- 自動運転の利用意向を年齢別で見ると、「利用意向あり（利用してみたい+どちらかといえば利用してみたい）」の割合は若干のばらつきがみられるが、24歳以下から70歳~74歳にかけて、大きな差は見受けられない。「利用意向なし（どちらかといえば利用したくない+利用したくない）」の割合は、高齢になるにつれて増加傾向にある。

●ライドシェアの利用意向（年齢別）



●自動運転の利用意向（年齢別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

8. 運転免許証の自主返納について

(1) 運転免許証の保有状況と返納意向

※65歳以上の方が対象

- 運転免許証の保有状況を年齢別で見ると、「自動車」及び「自動二輪・原付」ともに、高齢になるにつれて保有割合が減少し、「運転免許証を自主返納した」及び「持っていない」の割合が増加している。
- 住まいの地域別で見ると、堅上地域では他地域と比べて、「自動車」及び「自動二輪・原付」の保有割合が高く、「運転免許証を自主返納した」あるいは「運転免許証を持っていない」の割合が低い。
- 運転免許証保有者における運転免許証の返納意向は、「しばらくは返納しない」が約9割を占める。
- 年齢別で見ると、高齢になるにつれて「近々返納するつもり、返納しても良い」の割合が増加傾向にあるが、75歳以上の「しばらくは返納しない」の割合は8割以上を占める。

●運転免許証の保有状況（年齢別）

	自動車	自動二輪・原付	その他	運転免許証を自主返納した	運転免許証を持っていない	総回答数
全体 (N=620, n=540)	52.6%	17.4%	0.7%	17.4%	26.7%	114.8%
65歳～69歳 (N=138, n=112)	73.2%	29.5%	0.9%	3.6%	16.1%	123.2%
70歳～74歳 (N=164, n=136)	61.8%	25.0%	0.7%	11.0%	22.1%	120.6%
75歳以上 (N=318, n=292)	40.4%	9.2%	0.7%	25.7%	32.9%	108.9%

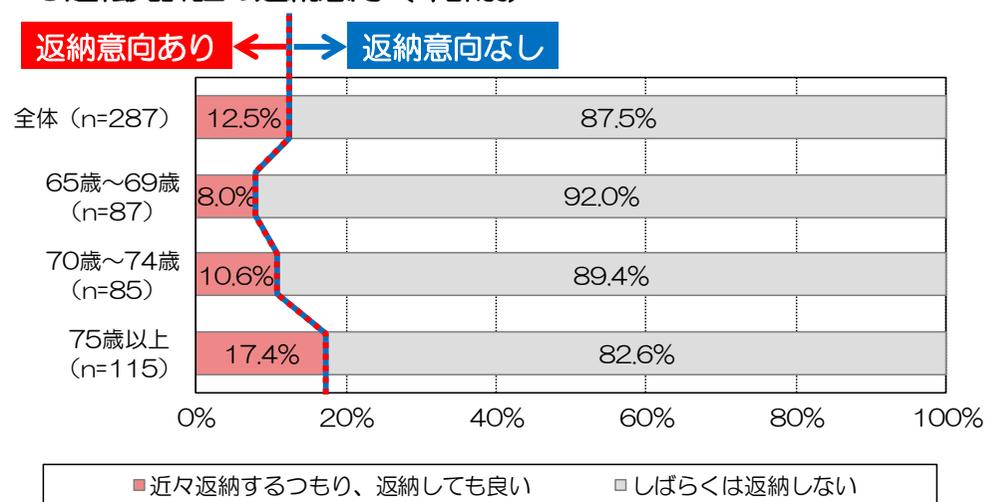
※複数回答（運転免許証の保有状況）

●運転免許証の保有状況（住まいの地域別）

	自動車	自動二輪・原付	その他	運転免許証を自主返納した	運転免許証を持っていない	総回答数
全体 (N=620, n=540)	52.6%	17.4%	0.7%	17.4%	26.7%	114.8%
勢圏内 (N=228, n=201)	47.8%	15.4%	1.0%	20.9%	28.4%	113.4%
国分地域 (N=117, n=103)	53.4%	13.6%	1.9%	20.4%	24.3%	113.6%
柏原地域 (N=108, n=96)	41.7%	17.7%	0.0%	20.8%	32.3%	112.5%
勢圏外 (N=392, n=339)	55.5%	18.6%	0.6%	15.3%	25.7%	115.6%
堅上地域 (N=180, n=150)	60.7%	22.7%	0.7%	12.0%	24.0%	120.0%
国分地域 (N=96, n=84)	50.0%	19.0%	0.0%	19.0%	26.2%	114.3%
柏原地域 (N=99, n=90)	52.2%	11.1%	0.0%	16.7%	30.0%	110.0%

※複数回答（運転免許証の保有状況）

●運転免許証の返納意向（年齢別）



※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

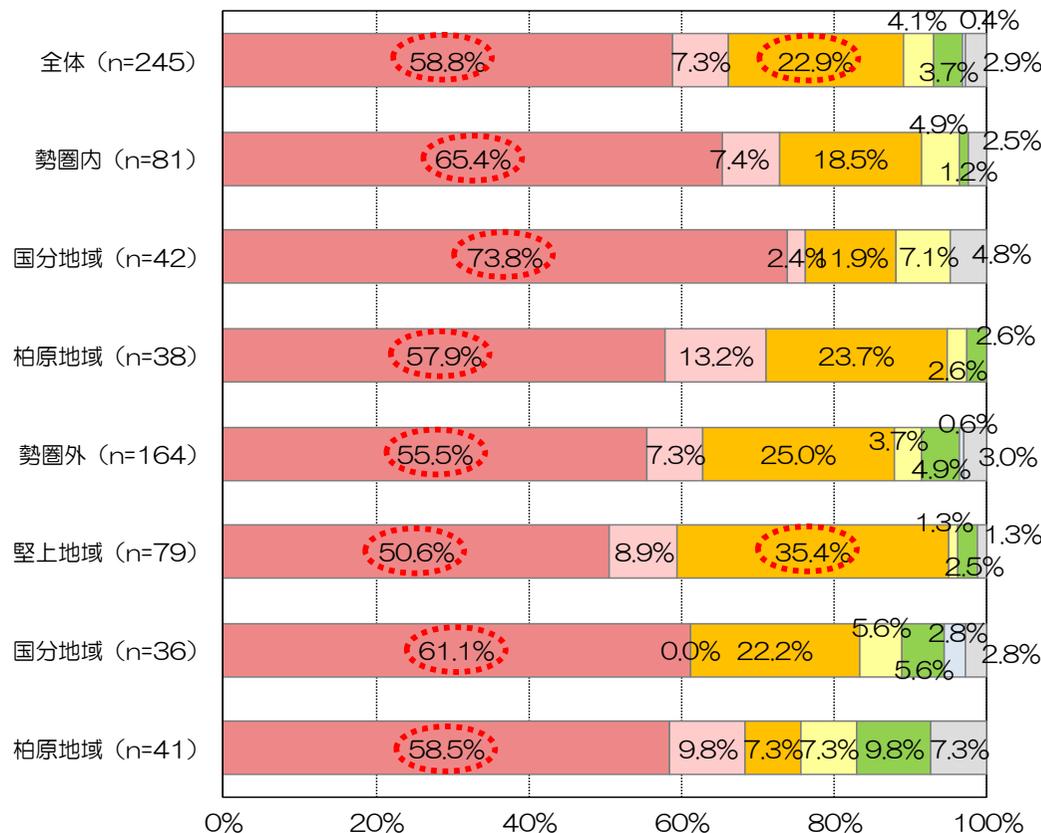
8. 運転免許証の自主返納について

(2) 運転免許証を返納しない理由

- 運転免許証を返納しない理由は、「まだ運転できるので返納の必要がない」の割合が約59%と最も高く、次いで「返納すると代わりに使える交通手段がなくなる、不便になる」が約23%である。
- 住まいの地域別で見ると、「まだ運転できるので返納の必要がない」の割合が全ての地域で最も高い。堅上地域では、「返納すると代わりに使える交通手段がなくなる、不便になる」の割合が他地域と比べて高い。

※65歳以上の方が対象

●運転免許証を返納しない理由（住まいの地域別）



- まだ運転できるので返納の必要がない
- 運転能力の低下を感じてはいるが返納するほどではない
- 返納すると代わりに使える交通手段がなくなる、不便になる
- 家族などの送迎をするために必要である
- 運転はしないが身分証明に使う必要がある
- 返納することによる特典がない
- 運転免許証返納制度を知らなかった
- その他

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

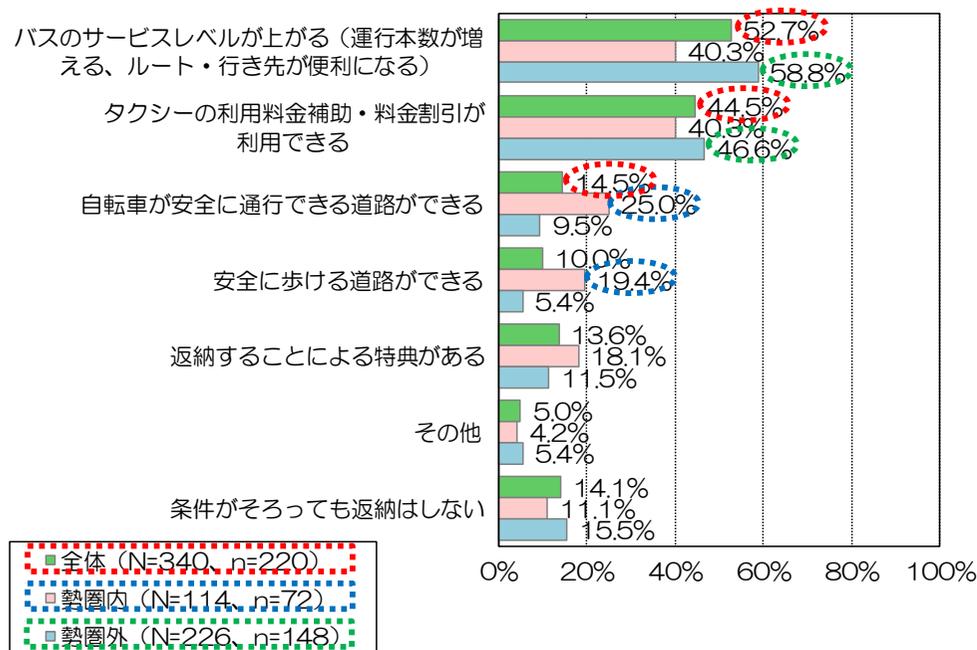
8. 運転免許証の自主返納について

(3) 運転免許証を返納するための条件

※65歳以上の方が対象

- 運転免許証を返納するための条件は、「バスのサービスレベルが上がる」が最も多く、次いで「タクシーの利用料金補助・料金割引が利用できる」、「自転車が安全に通行できる道路ができる」の順である。
- 「バスのサービスレベルが上がる」及び「タクシーの利用料金補助・料金割引が利用できる」の公共交通の拡充を求める条件の割合は、勢圏外が勢圏内と比べて高い。
- 「自転車が安全に通行できる道路ができる」及び「安全に歩ける道路ができる」の自転車通行や歩行時における道路の安全向上を求める条件の割合は、勢圏内が勢圏外と比べて高い。

●運転免許証を返納するための条件



※複数回答 (運転免許証を返納するための条件)

※ 表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある